京城日報

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

十一月十二日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇獨帝退位疑無し 巴威王將來の攝政か

獨逸皇帝の退位は單に時間の問題なりしが去る九日を以て遂に之を決行したるが如し　這は休戰委員より聯合側提議の條項を本國政府に到達すると共に刻下獨逸内部の窮狀に鑑み速かに講和商議に入らざるべからざることを認めたる結果休戰條約調印に先ち皇帝の退位を決行し進んで講和會議に入らんとするものの如し　然れども別報外電に依れば皇帝は退位を拒絕したるを以てマックス宰相は辭職したりと傳へらるゝも各方面より其筋に達したる電報を綜合するに獨帝退位は矢張事實なるが如し而して獨帝退位後の同國内の狀勢を察するに多分皇孫ウイルヘルム、フリードリツヒ帝位に上るべく是が攝政たらんとする各邦元首は勢其準備運動を爲すべきが就中巴威は境域廣大にして强大なる兵力を有し開戰以來軍事上及び食糧の供給等に貢獻せること尠からず特に今回は率先して共和宣言を爲したるものなれば普魯西王の勢力に對抗して一層優勢の狀態を呈すべく結局巴威王は將來の攝政たるべし而して聯邦參議院及び帝國議會は國民代表機關として獨逸將來の最高權力を有するに至るべしと某消息通は語れり（東京特電）

◇休戰條約調印乎

獨逸休戰委員は多分十一日午前十一時（我十一日午後八時頃）を期し聯合國講和委員長フォッシュ元帥との間に會見を行ひ休戰條約に關する回答を爲せし筈なるが獨逸國内形勢險惡の情報より見るも此際曖昧なる中間的回答を爲し徒に聯合國の威嚇を買ふよりも速に條件を承認するを以て得策とすべきに依り直ちに調印の段取となるは勿論愈講和商議の順序となるべしと目せらると某軍事通は語れり（東京特電）

◇對獨猶豫期間起算

巴里發某所著電＝休戰交涉に關する七十二時間の猶豫は八日午前十一時より起算せらる獨逸委員は休戰條件の正文を皇帝所在地たる大本營スパノに送る爲めフォッシュ元帥の承諾を得て特使を發したり（東京特電）

◇獨帝退位公報

某所著電＝獨逸宰相マックス公は八日辭表を提出したるが皇帝は近く何分の決意を爲す可きに就き留任せん事を求めたる趣き傳へられたる處伯林公報として獨帝退位を發表されたる旨九日バーセルより入電ありたり（東京特電）

◇獨帝退位宣言感電

倫敦發某所著電＝獨逸皇帝は獨逸帝位及び普魯西帝王位を退讓する事に決したる旨九日附マックス宰相の名を以て宣言せられたる趣きを述べたる白耳義電報英國無線電信に感受したり（東京特電）

◇ヘンリー親王狙擊さる

シュレスウイツヒ、ウオルスク、ツアイツング紙の所報に曰く普魯西のヘンリー親王は六日キールを去りたるが其自動車は赤旗を掲げ親王は赤色の徽章を著け居たるに拘はらず親王なる事認識され水兵を搭載せる自動車にて追跡されたり水兵は數十回小銃を以て狙擊せしが親王は無事逃げ延びたるものの如し（倫敦電報）

◇獨逸宰相の布告

獨逸宰相は海外在留獨逸人に對し左の布告を發せり（倫敦電報）

現下國步艱難の秋に膺り祖國を去りて海外に居住する幾多の獨逸人は今や嫌惡と驕慢なる嘲弄とに包まれ意氣阻喪するものある可し然れども獨逸國民に對する卿等の信任を棄つる勿れ獨逸の軍隊は最後迄勇敢に戰ひ如何なる軍隊と雖も其祖國の爲に勇敢に鬪はざる事無し大戰第五年に於て共同盟國の脱落を見たる獨逸は一方に漸次其優越力を增大しつゝある敵に對して戰鬪を續行するを得ざるに至りたり多數國民の希望したる戰勝は遂に吾人の得る處と成らざりしも獨逸國民は更に一層偉大なる勝利を贏ち得たり何となれば獨逸國民は自らを制御し且つ幾多新知識を得たればなり吾人は此勝利より吾人の目前に存する困難に處す可き邁進の勇を得卿等も亦之に基礎を置くを得可し

◇天皇陛下御親電（東京特電）

◇英國皇帝陛下へ

御滯英中の東伏見宮依仁親王殿下に對し英國皇帝より懇篤なる御歡待在らせられたるに就き九日附にて天皇陛下には英國皇帝陛下に對せられ左の通り御親電御發遊ばされたり

陛下及ヒ貴皇族ヨリ依仁親王ニ對シ最モ懇篤ナル歡待ヲ與ヘラレタルノ報道ニ接スルハ朕ノ誠ニ欣幸トスルトコロトス歷史上特筆スヘキ此重大ナル時機ニ際シ同親王ニ厚遇及ヒ便宜ヲ與ヘンカ爲メ時日ヲ費シ且ツ考慮ヲ煩シタルハ朕及ヒ日本國民ノ深ク尊重スル所ナリ

御名

英國皇帝陛下

◇伊太利皇帝陛下へ

天皇陛下には伊太利軍の戰捷に對し本月九日附伊太利國皇帝陛下に左の御親電を御發送在らせられたり

伊國戰線ニ於ケル戰局ノ偉大ナル發展ヲ見タルハ朕ノ歡喜スル所ナリ貴國々民ノ努力及ヒ勇氣ノ至當ナル報酬トシテ獲タル此光榮アル効果ハ朕ヲシテ喜悅ニ勝ヘサラシム今此記念スヘキ戰捷ノ機ニ際シ此意ヲ陛下ニ效スハ特ニ朕ノ欣懷トス朕ハ朕ノ熱誠ナル祝意ヲ效シ合セテ此祝意ヲ貴國陸海軍ニ傳ヘラレンコトヲ希フ

御名

伊太利國皇帝陛下

◇獨帝退位と攝政

ヘーグ發某所著電＝八日發ウヲルフ電報に據れば獨逸皇帝並に皇太子は退位する事となり現帝國宰相は右退位問題茲に攝政創設の始末を了する迄留任し其後は社會黨員エルベル新宰相たる可し（東京特電）

◇伯林市街嚴警

伯林の鐵道交通は休止され市街は嚴重警衛され居たり右はクルツプ會社職工七萬五千の同盟罷業の結果なり（紐育電報）

◇巴威共和政體組織

巴威政府は獨逸聯邦制脱退を聲明し共和政體を組織せり（桑港電報）

◇獨皇太子退位

伯林公報に據れば獨帝退位決定と皇太子も皇位繼承權を拋棄したり（紐育電報）

◇赤衛軍 伯林政府支配

紐育電報＝十日赤衛軍は伯林政府を支配するに至れり（東京至急電報）

◇匈牙利中立宣言

倫敦來電＝匈牙利政府は匈牙利の中立國なることを宣言したり匈牙利首相は獨逸軍隊の同國内を通過するものゝ武裝解除を要求せり（東京特電）

◇聯合艦隊君府着

某所著電＝聯合艦隊は豫定より遲れて九日コンスタチノープル港に入れり今後黑海方面に出動の筈なり（東京特電）

◇遣米佛委員演說

遣米佛國外交委員アンドレー、タルデウ氏は外國特別代表者團に向つて演說せしが最近の大戰中に於ける佛國の英雄的奮鬪を大いに賞揚し而して米國に向つて佛國の荒廢に歸せる地方復舊の爲め援助を求めたり而して獨逸潛航艇の爲め破壞の厄に遭ひし船舶の損害は百萬噸にして少くとも五百億フラン以上の損失なりと附言せり（紐育電報）

◇佛國庫債券發行

今回千九百十八年佛國政府國庫債券を發行する事に決定せり（巴里特電）

◇鹽稅剩餘金引渡眞僞

支那政府より增稅剩餘金五十萬弗引渡要求に關し四國銀行團は之を許可せる旨新聞電報あるも北京筋には未だ何等の情報無く眞僞不明なりと（東京特電）

◇南北和平と條件

趙炳麟氏は十日徐總統の旨を受け岑春煊氏に打電して曰く總統は南北和平に關し南北雙方の意見を聞き條件に就ては未だ何等言ふ能はざるも唯南北對等の和平會議に至りては威信の上より總統は頗る考慮し居れり若し會議の形式を避け得れば交涉を進め得可しと（北京特電）

◇極東總督任命

臨時西伯利政府の極東に於ける最高權者の權限及び總督府の組織等に就き左の如く正式に發表されたり（哈爾賓電報）

總督の管轄區域は黑龍州、沿海州、勘察加、樺太、東清鐵道沿線一帶にして總督の下に民政、軍政の二名の副總督を置き軍政に膺る可き副總督はセミヨノフ大佐たる可し因にホルワット將軍は七日附正式に極東總督に任命されたり

◇トロツキー過派を脱す

トロツキーは陸相を辭職し過激派を脱せり（紐育電報）

◇對外貿易

十一月上旬の對外貿易は輸出五千八百十四萬八千圓輸入四千四百七十九萬圓にして差引輸出超過一千三百卅五萬八千圓に達せり（東京特電）

◇兩大將出發

陸軍特別大演習東軍司令官松川大將西軍司令官仁田原大將は夫々幕僚を隨へ十二日午前十時上野驛發演習地に向ひたり（東京特電）

◇小幡駐支公使

小幡駐支公使は十五日赴任の途に就く由（東京特電）

◇政友會岡山支部總會

政友會岡山支部總會は十一日午後一時後樂園鶴鳴館に於て開會江藤代議士其他約二百餘名出席山崎支部幹事開會の辭を述べ座長に江三郎氏を推し決議及び宣言書を可決し續いて福井八木氏の演說あり終つて天皇陛下及び政友會の萬歲を三唱し散會尚ほ同夜は山佐樓に於て懇親會を催せり（岡山特電）

決議

一、選擧權の擴張
一、自治政の刷新
一、文官任用令改正

◇國澤理事長以下に敍勳

支那政府は國澤滿鐵理事長へ一等嘉禾章、權山、改野、龍居、久保の四理事及び佃前理事滿鐵社員佐藤泰作氏へ二等嘉禾章、奉天驛長高越正良、社員町野竹馬鐵道課長助へ三等嘉禾章を十日贈與せり此外在支日本人の敍勳されし者多し（大連特電）

◇辭令

十一日左の通り辭令ありたり（東京特電）

任朝鮮總督府判事（八等）　朝鮮總督府裁判所書記　朴海克

土木課營繕課勤務を命ず　朝鮮總督府技師　鳥居眞

依願免本官（各通）　朝鮮總督府水產課技師　庵原文一
同　判事　高運河

◇議會召集詔書發表

第四十一回帝國議會召集の詔書は十二日の官報を以て左の通り發表せられたり（東京特電）

朕帝國憲法第七條第四十一條に依り本年十二月二十五日を以て帝國議會を東京に召集す

◎政務總監設宴

山縣政務總監は十二日午後六時半より朝鮮ホテルに於て晩餐會を催し殖產銀行支店長會議の爲め滯京中の各支店長全部並に同行三島頭取以下各理事各監事各課長を招待すべきが總督府よりは鈴木度支部長官及び關係各部出席の筈なり

◎總監茶菓饗應

山縣政務總監は十三日正午京城ホテルに於て目下總督府に於て開催中の統計講習會講習の爲め滯京の各道議員七十餘名を招待し茶菓の饗應を爲すべきが總督府よりは荻田總務局長、統計課長、田中事務官等出席すべし

◎滿蒙毛織進捗

十四日より公募せん

東拓滿鐵並に東京大阪兩地の有力實業家を以て計畫されつゝある資本金一千萬圓の滿蒙毛織株式會社は諸種の準備終了せしを以て愈來る十四日より一般に株式を公募すべしとの事なるが同社株式二十萬株中東洋拓殖會社は五萬株乃至四分の一滿鐵は一萬株を引受くる事となり居り醵資有望の事業とて一般より曙目され居れり

◎金移出不振

十月中に於ける朝鮮の金及び地金の輸移出高は引續き振はず僅々四十一萬七千零七十五圓に過ぎず更に七年の一月以降の累計を見るに五百十八萬一千百九十一圓にして前年の八百三十六萬三千六百八十八圓に比し三百零八萬二千圓の減少となり居れり

◎關稅收入增加

十月中に於ける朝鮮關稅收入は輸移入稅八十八萬二千九百四十五圓輸移出稅八萬五千五百三十七圓噸稅合計百零十萬零六百六十圓を示し未曾有の高額を示したるが一月以降の累計を見るに七百六十五萬九千八百十圓にして之を前年に比すれば二百零七萬一千圓の增收を示し居れり

◎定例長官會議

十二日午前十時より總督府總督室にて定例長官會議を開き山縣政務總監各部局長官並に所屬官署長等一般政務に就て審議せり

◎東條武官著任

新任總督附武官海軍大佐東條明次氏は既報の如く家族一行十一日午後九時南大門驛着列車にて著任後城嶽海舍に入れるが十二日午後總督並に山縣政務總監を訪問着任の挨拶を爲し後各部局長官を始め各課を歷訪し同じく挨拶を爲せり

◎新任米總領事

新任京城在米國總領事バーグホルツ氏は當年八十一歲の母堂を同伴十二日關釜連絡船にて釜山に上陸直ちに京城に向へり（釜山電話）

◎土調員辭令傳達

高等土地調査委員會事務局事務官に任ぜられたる兒矢木欽禰氏外七名に對し十二日午後總督府にて山縣總監より辭令を傳達せり

◎忠南商業會社設立

忠清南道山に於て物品販賣及問屋業を營まんが爲めに資本金十五萬圓を以て忠南商業株式會社を設立の件は嚮に發起人七名より許可申請中十一月七日附を以て許可の指令ありたる同社は總株數三千株とし一般募數は五百株にして其の他は全部發起人に於て引受第一回分として三萬五千圓を拂込むものなりと

◎朝鮮大連商議會頭

大連商議會頭相生由太郎氏は近親の訃報に接し十一日歸國の途に就けり（大連特電）

◎加藤社長歡迎會

今回加藤本社長南鮮視察の途次來浦を機とし十一日午後七時より當地官民有志北一樓に於て歡迎會を催し長官を始め四十五名列席主客十分に意見を交換し歡を盡して散會せるは午後十時頃にて頗る盛會なりき（浦州特電）

人事消息

▲大島工學博士（滿洲鐵道）一行七名と共に十一日午後釜山上陸北行（釜山特電）

▲久保要藏氏（滿鐵京管局長）十二日朝大連へ

▲コクンヤロク氏夫妻（東清鐵道地方部長）は十二日朝南大門驛通過奉天へ

酒前茶後

◆獨帝の退位は、未だ確たる報道に接せざるも、事實に於て最早獨帝は、昔日の權力無きものの如し。各地の革命が、漸次擴大するは、其一證とも見るを得べく、サクソニー、バイエルン等が獨立せんとする亦其の實證たるべし。米國大統領は曾て、獨逸にして若し講和を提議せんとせば、先づ戰爭の罪魁たる獨帝を退位せしめよと叫べり。獨逸は此の意味により、獨帝を退位せしめんとするか、聯合國が又、和議を進めんとするか。今日の處にては、獨帝の退位が、和議に對しては、左程大したる重きをなす所に非ざる也。唯獨逸が、聯合國側の條件を全部承認せば足るべし。

◆米國の對獨通牒文には、必ず「聯合國及び米國」と明かに、區別の文字を使用しあり。這は米國が倫敦宣言にも、巴里經濟同盟にも、加入し居らぬ關係にあるは勿論なるも。更に之を他の方面より見れば、米國は戰後の國際關係を大觀して、飽迄も不羈獨立の位置を明かにせる、米國外交の用意周到を示すものに非ざるなきか。果して然らば、此深長なる意味は、將來の國際關係上、又大に味はふべきにあらずや。

◆近頃大隈侯の高遠の理想より、尚ほ一層高遠の理想現はれ來れり。即ち世界の大風呂敷中の大風呂敷は、恐らく國際聯盟說を超ゆるものなからん。聯盟の趣旨を貫徹せんとせば、中歐同盟は勿論、英佛伊商、日英同盟、其他現時世界列國の政策の樞軸となりつゝある、諸同盟、諸協商は總て破棄せざるべからず。換言すれば、一枚々々の風呂敷にて、部分的に包み居れる世界を、一枚の大風呂敷に、一括して包むと云ふにあり。茲に於て大隈侯の高遠の理想も、最早脚下に及ばず、眞に超高遠の理想たり。

特約專賣店募集

民間經營日用品廉價供給事業の

朝鮮學術研究會編　發行所 京城本町三丁目 ウツボヤ書店

中學・商業・女子高等普通學校・高等普通學校 入學試驗問題答案集

本月中旬發行　四六版二百餘頁▲定價金五十錢送料四錢▼
學生諸君……御待兼の入學試驗問題……
賣切れぬ内に…買ふて入學の榮を得られん事を
發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次販賣所 大阪屋▲岩松堂▼日韓書房

建築 設計製圖 監督鑑定 相澤工務所
京城旭町一丁目 電話一四六五
元朝鮮總督府勤務 相澤敬治
▲學校又ハ官衙事務用机椅子其他家具製作販賣▼

大日本優等清酒 ハクツル
品質純良 衛生無害
白鶴
醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

保險金受領廣告
一金五百圓也　被保險者 金致根
右者本年八月日清生命保險株式會社と保險契約致居候處不幸病死亡に付同社の代理店の手を經て金額正に受領仕候就ては同社の敏速なる處置と確實なる生命保險の人生に最も必要なる事を感じ茲に謹告候也
大正七年拾壹月
黃海道黃州郡永豐面　金遺族

これなら大丈夫 たしかにヨク効く
醫師も推獎し 實驗者も保証する
最有効强壯藥
滋養大関 次亞燐
略効 肺病 肋膜 貧血 產後 病後 衰弱 老衰 胃弱 强壯を望む人々
定價 大二圓 中壹圓卅錢 小八拾錢 試用五拾錢
大阪東區道修町 製藥師 小西久兵衛

大正七年七月一日改正現行

露國革命と同徑路

獨叛亂ウ軍港に蔓延し形勢險惡

某所着電=キールに於ける水兵暴動は獨逸一大軍港たるウイルヘルムスハウフエン(北獨北海に臨む)にも蔓延し目下同港碇泊中の主力艦隊全部及び潜水艇乘組員等は擧つて暴動に參加せりと而して該叛亂は全然露國勞兵會の徑路手段と同樣にして今や下士卒の權力大に將校に對する侮蔑盛んに行はれ形勢頗る險惡に向ひつゝあり(東京特電)

勞働組合が出來た

不正な資本主に對抗して勞働者を救助する目的で

◇政府は該組合禁遏の方針であるらしい◇

時局以來我邦に於ても勞力の大拂底を告げ各地に職工の爭奪戰が續發し或は從業員に過多の從事を強ひ又は職工の目的外として前借をなさしめ他へ轉じようとする不良行者の假差押へをやり手段を講ずる工場主が多くなつた一面には漸く勞働者の自覺を促し甚しき不正工場主に對抗して彼等を救助すると云ふ目的の下に職工組合とか勞働組合とかの團體が各地に出來始めた之れは時局の生んだ二個關組合員は一圓と定め此の酬や組合の組織として組合一戸から一箇月十五錢を徴收するとして工場主の不過が冷淡であるとか又は虐待或は給金の支拂が遲れたりなんかすると組合が交渉する又病に罹り其他罹災に陷つた組合員の婚資や共同費に於て組合員なければになつて居る此組合が出來てから從來過多の職工が非常に困つてあつた時は一厘の借金もないのに宿泊料を滞る百圓も百五十圓もの大金を借り搾取されなくなつた斯うなつて來ると一般工場主は非常に困つて居る

◇新らしい 傾向で勞働問題を解決すべき前提である穩健な態度の下に會員の相互扶助に努め勞働爭議等の解決に與つて著々と地歩を固めつゝある地方に於ける勞働組合の一例に就いて某當局は語る『英國や獨逸では勞働者を擁護する爲に非常の鞏固な勞働組合があるが我邦には從來此種の組合がない爲勞働者は工場主の冷遇虐待に對して何うする事も出來ず常に泣き寢入りであつた所が歐洲戰爭が開始され我國の商工業が著しく發展を來し勞働者の大拂底を告げるに從つて工場主の横暴其極に達したので勞働者に於ても之が對抗策を講ずるの急務なるを自覺する樣になり大正四年の末に長野縣北佐久郡に職工組合の出來たのを始めとして全國各地に最近此種の組合が續々出來だした今北佐久郡の職工組合の事業目的等を調べて見ると同組合は同地出身の職工や父兄を組合員とし毎年一人に付五十錢宛の積立をさせ會員が死亡したり

◇疾病失業 其他特別の罹災の場合に此積立金から補助をし組合員であつて會に出稼ぎを廢止する場合には本人の請求に依つて積立金の現在高から拂戻し年度に應じ返還するやうになつて居る又組合に組合一人、副組合長二人を置き組合長の報酬は一ケ年

◇工場主に 對しては結束して當るから勞働者は非常に助かる我邦も漸く此種の組合が出來だしたのは不正な資本家の反省を促すの動機ともなつて何より結構な事である』

◇女子學院行啓 皇后陛下には十四日女子學院へ行啓の旨仰出されたり(東京特電)

金の饑饉

奢侈に淫した濫費を愼まなければ……

◇需要大超過 大藏省某大官は語る世間の景氣につれて奢侈の風潮は滔々上下に浸潤して今では金時計、金鎖、金カフス釦等は普通の裝飾となつた、試みに電車の

▲婦人乘客 に注意するならば二つ三つの寶石入金指環を箝めてない婦手を發見するに困難な程である、男子にして金時計金鎖は云はずもがな、金指環、金腕輪を箝めてゐるのさへ珍らしくない、寺局の影響で非常の富をしたが農民の或者はその金の遣ひ途に事缺いで寶石豆を作つてゐる北海道の

▲完全な齒 を態々拔き取つて金の總入齒に替へ、得意になつて歸宅すると子供達は父の口の恐ろしい状に怖れて泣出したと云ふ挿話さへある、斯の如くして一般世間が貨金屬を濫費する傾向は著しく增長して來た、戰前一箇年の金の需要は日本銀行が兌換準備とする一千五百乃至七百萬圓の外に民間の醫料及び工藝用として要する三百萬乃至

▲五百萬圓 で、二千二百萬圓が絶頂であつた、而して日本の金の總産額は二千二百萬圓(高レコート)であつたから兎も角も自給自足してゐた譯である、然るに最近の調査に據ると一箇年の民間の需要だけで三千萬圓と云ふ多額に上つてゐる

即ち民間だけで

戰前の全需用

よりも一千萬圓も多い是つて日本の全産額よりも一千萬圓超過してそれだけ年々正貨を潰して用ひてゐるのである、而して日本は本位貨幣の金屬として法價格が一匁五圓となつてゐる關係から戰爭中も生産が格別增加してゐないのみか却つて減少の傾向がある尤も戰爭のお蔭で輸出超過となり保有正貨年々激增して現在内外正貨高は十五億五百萬圓に達した、けれども其中十億四千五百萬圓は海外在高で日本の所有には

▲相違ない が各國共輸出を禁示してゐるから日本に持つて來る譯には行かぬ、恐らく此禁示は戰後十箇年位は維持されるであらう、故にその需用超過の分は在内正貨に仰いで潰して行くとすれば我が國の兌換基礎に影響する所極めて重大である、戰前の需用に比べると民間のみで約六倍に激增してゐるから正貨の

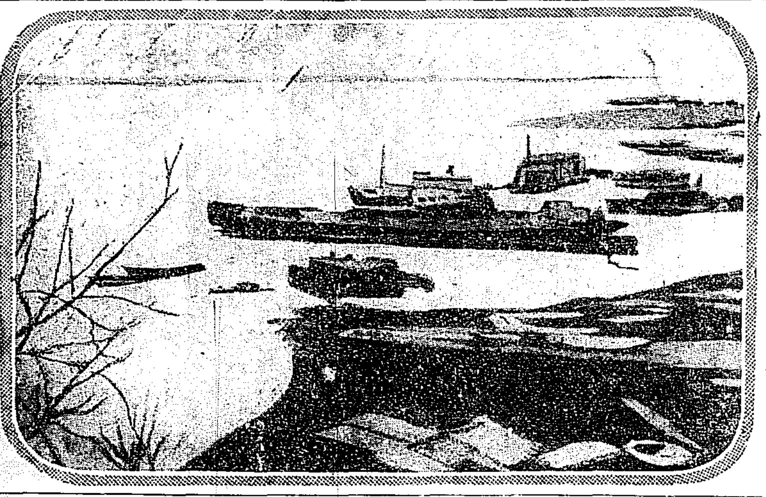
▲在内 正貨は 急速に增加しはるない、當局に於ても此點に就て考慮してゐるが、各國に類例のない事であるから種々な行へ出の有がいことであつて未だ策をなすに至らぬ、結局されぬ一般需要者の方から自發的に貨金屬の濫費を愼んで貰ふ外はない(東京)

黑龍江は結氷した

背を踏まん許りの鱒の大漁

日本兒童の爲學校開始の計畫あり

八日歸朝せるニコライスク副領事石田虎松氏の談に曰く予は二十四日ニコライスクより河船にて黑龍江を航行し來れるが同日既に六寸餘の積雪を見し程にて同江も三寸強の結氷あり流氷も尠からざりしが翌二十五日歸朝の出帆を最終として通航閉鎖



◇凍結せる黑龍江◇

された 黑龍江河口及び沿海州に於ける漁業は露治時代禁止されしが今回の使用は兵役の漁業を爲し居れり然るに本年は禁を解かれ日露兩國漁業者にて鱒魚近年稀有の漁にて河口の下流たるカーモラリ河までも夥しく背を踏まん許りの盛況を呈せり只製造は不可能の爲め粗雑に流れ且つ通貨拂底にて邦人の引揚げを缺き爲め市場に多數の鱒を腐らせり土人は深く日本人を徳とし日露人間の親善に益々努めて來れり尚同地に目下在留日本人は三百卅名にして兒童の爲めに學校開始の計畫あり(敦賀電報)

信州の大地震

十一日拂曉より信州大町に烈しき地震あり縣道地辷り交通杜絶し猶ほ餘震は繼續中なり(東京特電)

米國看護團

一行九名浦鹽へ

米國より浦鹽へ派遣の看護團一行九名は十一日東京驛發敦賀經由浦鹽に向ひたり(東京特電)

三辭職に内定せり

火災の爲め(?)の損害の復舊の望みも絶ゆたるもの、如し(大連特電)

下關の火事

損害十七萬圓

下關市西細江町藤原通り雜品果物商三宅總三宅より十日午後十時失火し全宅十五戸を燒失し同十二時鎭火せり損害額約十七萬圓に達し此保險金高一万七千圓の見込なりと(門司特電)

佛國から飛行機

敎官十三名・飛行將校卅名來襲

船空隊の發展

陸軍航空隊に於ては所澤航空第一大隊以外來る十二月一日から各務ケ原第二大隊を開設し同日を以て隊員を收容することとなつて居るが更に近く八日市第三大刀洗第四の兩大隊を開設し續いて第五六七の三大隊をも逐次開設する部合になつて居る從つて各大隊完成の上は所屬飛行機の多數を要する譯で獎に諸外國に注文した多數の新式飛行機も著々到著の豫定で本月中には佛國から數十臺到著し夫に附き添うて同國から陸軍飛行將校並に技師約三十名も來朝して組立試運轉は勿論我飛行將校に對し戰鬪飛行術教授をも爲す由であるが一方海軍航空隊に於ては從來飛行將校は陸軍と同樣現役將校から選拔採用すると共に海軍附准士官下士から技倆を拔んで將校同樣飛行術を練習せしめて居つたが今後は飛行學校を開設し飛行將校候補生を一般から募集して入校せしめ海軍將校たるべき一般學事並に航空機に關する操縦術及び機械學等を教授し卒業と共に飛行將校たらしむべく目下是れにつき夫々調査研究中であると

軍用自動車が民間で漸次出來る

陸軍に於ては軍用貨物自動車を民間工場に作せしむる事となり其の製作を下命したるが其内東京瓦斯電機其他數社に數十輛

◇瓦斯電機 工業株式會社に命じた十輛の内四輛は既に大森工場にて去る三十日竣成し四日各關係員立會の上青山練兵場に試運轉を行ひ好成績を擧げ殘餘の分も本月末迄には竣成する由である又陸軍にて飛行機用發動機ダイムラー百馬力十臺も同工場に於て目下製作中にて内二臺は

◇本月末に 完成する由なるも試驗の結果良好ならば更に各方面に製作を命ずる由である更に大阪及び日本自動車製作所及び日本兵器會社等に於て盛んに製作し居れり(東京特信)

自動車隊

北行す

第○自動車隊○○大尉以下○○名は○○日○○○上陸直ちに北行した(釜山特電)

藝娼妓中に肺病は

無いか……

◇一部で嚴重な健康診斷をする 藝娼妓は肺病者が最も多い、藝娼妓の客に接する事を業とする爲め傳染性の病氣を持つて居る危險なものであるので之を防ぐ爲めに全部の健康診斷を行つて見たいが東京の警視廳では規定の治療を行はせて居るが

▲肺病 の患者の初期に至つては一寸醫師の方でも見分けが付かぬ其儘に過ごして居る内に段々悪くなつて遂に大事に至るといふ連中も多い藝娼妓中に無いとも限らぬので京城消防務部では管内の内藝娼妓千數百名に對し是から嚴重に健康診斷を實行する計畫を立て十二日の管内各署長會議で決定する事となつたといふ其實行方法に就ては無論會議終了の結果でなければ分らないが近藤衛生課長の談によると最も

▲恐る べき肺病の患者が客に接する藝娼妓に若し有つたらソレコソ大變だ從つて健康診斷は之れを檢診するやうに思はれるから是から嚴重に檢診するとか檢する除り冷淡であつた樣に思はれるから是非選拔する必要である然し患者が行つた場合は即時休業を命じ不治の者には勿論であるが本病は殆ど不治であるから……

簡易保險

◇朝鮮にも此際實施したい 今日の貯金狀態を調査して其實施は……

◇遲くとも決して早くない=遠藤貯金局長談

昨年内地に簡易保險の實行と共に朝鮮に於ても是非實施し度いと議案を提出したのが途中で引掛つて其儘となつて居た然るに政府は今回時勢に鑑み一面に於ては物價調節の一策として大々的貯金思想を鼓吹して遊金から起る種々の

◆罪惡を 防止しようと云ふ事になつたので此朝鮮に於ても其趣旨に基づき此際是非共簡易保險を實施せしめ度い意響で其實施方法に關する調査の歩を進め此程全部の調査を終了はしたが果して今議會へ提出の運びに至るか否かは目下不明であるが可成るべく提出せしめ度いと遠藤貯金局長は語る『何しろ

◆朝鮮は 豫算がチヤンと定つて居るので内地でやる貯勵がない從つて際立つた貯勵による成績を見る譯に行かないが然し郵便所は無論各金融に依頼して貯金の奬勵は絶ゆやつて居る其の結果近來内鮮人共に貯金がメキ／＼殖ゑて今では人員百卅四萬の千三百十五萬圓に達したのを本年三月に比較して見ると人員が約十萬金額が百十五萬の增加を示して居る此

◆内鮮人 貯金が人員百七萬金額二百七十七萬圓で同く三月に比べて人員九萬金額三十七萬圓を共に增加して居る更に之を明治四十年度に比較して見ると人員約百六萬金額二百七十四萬圓の激增を示し實に隔世の觀がある之に依つて見ても内鮮人共に如何に貯金思想が向上して來たかを想像し得るだらうと云ふ

獸や禽が引張凧

戰亂の影響は動物界にも!!

歐洲戰爭はあらゆる方面に種々な影響を與へたが面白いのは是が動物の上にまで波及してゐることだ本邦に輸入された外國産の動物は主として獨逸を始め米國英國のた甲斐死堂動物課員の話によると從來の動物園乃至この道の商人の手から供給を受けてゐた獨逸のハーゲンベツクは人も知る

△世界一の 動物園で、こゝから世界各國へ供給する動物は數に於ても金高に於ても頗る莫大なものであつたが戰亂以來このハーゲンベツクは勿論その他の國からの供給がバツタリ杜絶して仕舞つたそれ迄は本邦にも便船毎に多數の動物が輸入されたものであるが斯ふ譯で近來は

△金の山を 積でも獸一匹禽一羽容易に手に容らぬことになつたさあ困つたのは全國の動物園や動物商人である新しいものは無論有觸れた動物でも外からは滅多に這入つて來ないので仔でも出來た時それを融通し合ふより外に方法がなく從つて生れた仔は引張り凧身の代金は從前の二倍三倍と云ふ

慶北の初雪

昨年より十日早し

慶北星州地方にては數日前より寒氣俄かに高まり十日午前四時頃伽倻山上に降雪を見山頂白色を呈したる由なるが之れ本道本年における初雪にして昨年に比し十日早しと(大邱)

渡米した三醫官

九月十八日横濱出帆の□洋丸にて渡米の途に就きたる總督府醫院醫官水津、成瀬、愿宮醫官久德の三醫官は十月九日無事桑港ヴイクトリヤに上陸したる旨通知ありたりと

客車を置去にして……

◇永川に著いて發見 十日午後五時卅三分部浦發林浦を出發したる輕鐵列車は客車八輛を連結して進行中林浦を距ら一里の地點にて突如連結が切れ後部の客車三輛は其場に置去り過ひたるが斯くとも知らぬ機關車及び其他の三輛は永川驛まで進み同驛に入りて見れば後部の客車三輛は何處にか失くなりしに驚き稍々取調べたる結果右の始末と判明直ちに機關車を進行せしめて永川迄牽き歸りたり因に車體及び乘客には異狀なかりしと

△馬鹿 高値を稱へるやうになつたこのから現在では變死で飼つて居る物は外國から直接購入したもの鮮、商人の手を經たもの他の動物と交換したものなど樣々であるが現今は前に述べたやうな關係から手も足も出せず大いに弱つて居ると云ふことである

久野女史樂壇に立つ

背水に構へた

◇ベ・ト・ー・ベ・ンの月光の曲から始めて

久野ひさ子さんが一昨年奇禍にかゝつて指を痛めてから此の若い天才的なピアニスト、久野さんは音樂學校にピアノを教授して居るのみで世間からは餘り注目されなかつた、然し此の永い間ひさ子さんは林町の自邸や音樂學校で寡ら演奏研究にいそしんで居たが來る十二月七八の兩日遂に意を決し期待せられた樂才を五つのベートーベンのソナタに示さうと云ふ

◆ソナタに ここなので右に就き神田の音樂學校教場にひさ子さんを訪ねると『恰度一昨年の十二月三日に演奏會に出演してから今日迄公の會には出ませんでした、今度彈きますのは全部ベートーベンが二十五歳頃から三十歳前後に掛けて作曲したものでパセテイツク、モンドリヒト、二短調、ワルトスタイン、アツペシヨナタの五つのソナタで御座います七八兩日共午後上野音樂學校で開きますので』と快活に語つた(東京)

◎イ馬階官母堂 總督府醫院醫官有馬英二氏は母堂危篤の報に接し九日朝急遽郷里東京へ向ひたるが母堂は十一日午後二時半終に逝去したる旨報知ありしと因に同醫官の東京の住所は本郷區千駄木五〇甲山英齊氏方

◎語々内名部長母堂 忠清南道論山郡長母堂は十日死去し葬儀は公州に於て數日に於て執行せり

◎長唄正聲會 長唄正聲會にては十三日午前十一時より花月に於て第四回月並會を開催する由

灯と もし 頃

朝鮮では痔を病ふと痔病だと云ふので少々の殿が出る位のものは氣で放つておく(ヤンガリ男)ある▲軍に興味……

……(郡守時代から痔を患つて居るが矢張り放つて居る相、但し價値は保證の限りに非ず▲痔と云へば某博士の話に飴が一番の妙藥だやら、聞く人何れも感心して「水飴でも甜めるんです」と云ふと「ナーニ、水飴に限らぬ、什麼飴でも好いから竹筒か瓶に入れて振、のだ」▲何う云ふ譯で振るのですと重ねて訊くと博士笑ひながら「アメふつてヂ固るさ」ハツハヽヽ▲昌慶苑行の七十號電車が、十一日午後鍾路停留場の前を疾走して居ると突然モーターが上つて困り打ち抜いたので怪我人はなかつたが乘客は度膽を拔かれたと云ふ

演藝案内

文樂座 本町五丁目 三八 新派劇 山地一行 十一月十二日より 全九場 ▲新派連鎖劇 白虫の悲劇

壽館 本町一丁目 電話一〇三〇 ▲十一月十一日より 東京大相撲の天才ダイヤモンド雪子 ▲寛永御前試合(寛一郎)▲天狗、金剛(前、後)▲名小伝▲長門守(前)▲巴(ダイヤモンド雪子)

大正館 本町三丁目 二〇五 電話八七三 ……一 探偵活劇 黑白合(七千尺) ▲探偵活劇 ……隅田川大仇討 ▲新派悲劇 二人娘(全三卷)

浪花館 益々大好評 女義 長廣 連夜滿員 六時より開演

壽座 本町三丁目 電話五七八番 大阪歌舞伎大一座 十一月十三日 五回目 前狂言 切狂言 ▲入場料

有樂館 東京小林商會直營 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話 ……

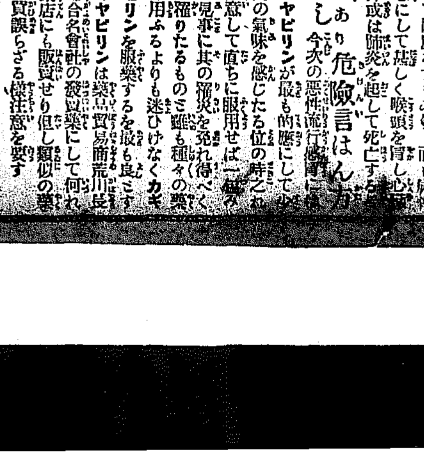
浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番 大阪一流女義太夫竹本長廣大一座 ……

黃金館 電話(晝間)二二六(夜間)二六六 ……

安達ヶ原三段目 ……

大秘密 ……

高等煉香油 二葉ポマード 束髮に 本品頗る高評



發賣元 角倉商店

信 老人未知 此間解決 急報居所 新

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 每日五名を限り 醫學博士 古城憲治

惡性感冒 ▽益々猖獗 當地の悪性感冒は益々蔓延して何處の家に行つても二人三人の罹病者を見ざるなく甚しきは一家沈を並べて臥床なすもあり、而も病性險惡にして甚しく喉頭を冒し心臓痲痺或は肺炎を起して死亡するもの少なからず 今次の悪性流行感冒に危險言はんなし カギヤピリンが最も的應にして少しく其の氣味を感じたる位の時之を用意して直ちに服用せば一服にて見事に其の罹災を免れ得べく既に罹りたるものと雖も種々の藥品を用ふるよりも迷ひけなくカギヤピリンを服藥するを最も良とす カギヤピリンは藥品貿易商荒川長太郎合名會社の發賣藥にして何れの藥店にも販賣せり但し類似の藥品に買誤らざる樣注意を要す

壹千五百組限り 上等毛布 一組二枚 一圓五十錢

平南經濟狀況 ……(左欄外、判讀困難)

仁川米豆取引 ……

天氣 ……

……小資金に充て却つて暴利なる
資金の融通を使つ間多きが如し

……は例年に比し甚だ閑散の形勢なり

◇咸冒死人◇

……十餘名に達せるが何日か……の模樣なりと

◎故伊公追悼會　永濟辯護士は故伊……

大邱見物（二）

其生

『お若いたぞ』と揺り起こされると急に雜然たる響きが聞こゑる、旅は安直に限ると、手提鞄唯一個を掲いて汽車を出ると、イヤ御苦勞樣、と大邱記者團の連中がお出迎へである、却つて御苦勞は此方から申し上る處也。お宿も最う決まつて居ますと案內されたのが本町の二階、一行四人が滯在中の本陣と決した迄は可なれど、之が後日の大災難に懸らうとは神ならぬ身の四人、無邪氣な皮の一枚下から大きな魔の手が出ようとは夢更ら以て存ぜざるは之が人間の情なさ。蓋し人間が寸前暗黑でこそ渡つて行けるもの、少が先の先を見ぬいて何時は盜難何時は病氣何年何月何日の何時には此の世のお暇乞ひと、チャンと其の段取が知れて居ては、現在の人間がズッと淋くなるが、グット弱くならなければ到底元氣の出るものに非ず況んや百萬の凡俗に於てをや。

閑話休題、未だ日暮には間もある今から火鉢を圍んで夕食を待つも阿呆らしい、見物に來た者が、鬼瓦の樣に二階から頭丈け突き出して睨んで見た處で、大勢の知れよう筈もない、百聞は一見に如かずなんて、サア行かう、旅は道連れ世は情け、オイ何うだい。佐々木京日支局長君の案內で、同行四人の元氣者、稍ともすると大邱の魔を、八ツの鼻の穴から吹き飛ばす勢ひ也。停車場の前の廣場には、赤地に白く團名や郡名を染出した小旗を中心に、集まつたりな、群がつたりな、黒衣白衣の先生達、威儀堂々と山羊鬚を捻つて手鼻をかむ。夕風肌に冷たく、聞慶郡の君子も、漆谷郡の聖人も、深く兩手を胸に組んで、路側に蹲がんで御座らつしやる。オイ餘計な事を申すな、遠々の共進會見物は、洵に以て殊勝千萬、進んで御案內も申上げたけれど、新來の拙者、朝鮮語の片言も存ぜざるは、百年目に親の仇に邂逅して、打ち漏らすよりも殘念也。南無許させ給へ、白衣の御連中。柄にもない殊勝氣を出して、水鼻をスーッと啜つて驛前の大通に出ると、眼前に蟠ねまします白亞門上の美人。遂には鯉旗に似た三角形の細長い赤地の日章旗が立つて、其三角形の最下端が、夕風にヒラ〳〵と動くを見て歳暮の鮭が尻尾を振るに似たりとは食ひ氣の深い奴、之が何ぞか申す美人の神樣の隊だと聞けば、成る程美人の神樂と思はる。其立像の下、女神の足下を潜るは、何でも惡性感冒に罹らぬおまじなひかと聞いて叱られ、無言で隨いて來る同行の一人が、水鼻をソッと橫になでながら却々能く出來て居ますナア

○貿易上の支障と

我奉天商業會議所の問題

東三省及び直隸省の各地港灣に輸入される貨物に對しては從來の納税を終了すると同時に放行單と『免重徵專照辦法』に從ひ免重徵專照單を發行して其の販賣地に於て徵税の重復を免れしめる樣な方法を取つて居た同辦法は明治四十二年十一月に決定し其後同辦法に從ふべく規定されてあつたのだけれども日本人の手から販賣すれば何等收税の證據等も不必要であつた爲め唯放行單を以て何地になりとも勝手に運搬し又販賣して居た併し或方面に於ては免重徵專照辦法を勵行し若し同專照が無かつたならば脱税品と見做し再び課税する等甚だ面倒があるを以て大正四年に日置公使が之れを撤廢すべく支那政府に交渉したけれども其の交渉は纏らず今日に至つたのであるが近頃支那問屋に於て日本人の貨物を販賣するものが多くなるに連れ支那人中の奸商は只日本人の名義を利用して諸貨物を輸入し販賣税を免かれようと圖るものが多く日支人の荷主區別が付かず課税整理に甚だ困難を感じた結果同の專照辦法を勵行し日支人荷主の識別を爲さんと企て本年六月から甚だ嚴重を加へて來たそれが爲め支那問屋で品物を販賣するには必ず專照單なるものを通過した税關より取らねばならぬ若し專照單が無かつたならば脱税品として更に課税を免かれぬ事になる今假りに大連に移入されたる貨物百個の內五十個を奉天に他の五十個を鐵嶺に搬する目的を以て免重徵專照の交付を受けた場合若し奉天或は鐵嶺に於て賣却出來ずに之れを他に搬出しなければならぬ場合には更に再び該地の税捐局其他に申出て專照の切替を爲し而して其物を貨物を移入出來るのであるが同專照は一定の期限內に之れを原税所に返納しなければならぬ規定になつて居り若し返納しなければ罰金を徵せられる等當業者は其の繁雜なる手續きを履行する爲め遂に商機を逸して損害を被る事多きのみならず斯くては對支貿易促進上大障碍たるは免れぬ日本商人にして從來大連或は安東の税關を通過する際同專照を請求したものなく只放行單を以て何等支障なく貿易販賣して來たのに今日右の如き面倒なる手續きを要するとすれば少しばかりの品物では其の手數に阻害されて自然入荷を控へる樣な事になる斯くては日支兩國の爲め甚だ不利益と云はねばならぬ然るに支那側は此等の理由を悟らず無暗に矢釜しく云ふものであるから紛議百出の現狀に陷り是非なく奉天特派交渉員より奉天總領事館に對し取締方に關し交渉提議して來た若し右の如き面倒な事を求めしたならば一般貿易者の不便甚だしき次第であるから之の事に關しては奉天商業會議所が役員會を開いて何とか適法を取るべく協議する筈である（奉天）

○講和と木材界

前途の成行如何

歐洲戰亂の講和の前途は未だ確し難きものありと雖も若違からずして講和成立せば海運界の如きは相應の打撃を受くべきは免れ難き所ならん當業者として他に先づ自ら戒しめ來れることなれば大なる打撃を蒙る如きことは萬なかるべしと思惟さる然るも中には却つて戰後通商貿易旺盛となり海運界は一時多少の打撃はあるとも忽ち回復を來して戰時以上の盛況を極むるに至るべしと觀測する向あれば木材業者として其等の點に關し今より充分の注意を要すべし尤も木材と海運界との關係は甚なるものあるは云ふまでもなきが過般來講和の聲高まりては多少値下したるも貨は云はば人氣下げとも稱すべきものにて即ち其內講和成立するに至るとも決して甚だしき低落を見ることあらざるし然れば材價に及ぼす影響も亦小なるものに過ぎざるべきか殊に木材は既に世界的に不足を告げ居れば其需要は戰後に於て意外に莫大なるものあるべければ勞材價の暗騰は必然のことゝ謂ふを得べく此の點より考ふれば假令講和成立の曉となり一般經濟界不振に陷ることありとするも我木材界は其影響は無論免るべからざらんも此が影響は微少にして大體の前途は大いに盛況を見るなるべしと確信するものなりと云ふと某木材業者は語れり（平壤）

○滿蒙織毛會社

資本は依然一千萬圓？

去る四日東京に於て發企人會を開催すべき筈なりし滿蒙織毛會社は其の當時同會に於て或は資本金を倍加して二千萬圓となしたりなど傳ふるものありしが在奉天某消息通に就き聞く所によれば資本金倍加の議は斯かく容易に決せらるべきものにあらざるべし、大阪資本家及び支那側官民出資者等は今遽に加入したるにはあらずして從前の計畫中に既に賛意を表したるものなれば株式の割當などは是等の加入を見て更に變更を來すべしとも思はれず、要は補給利子問題に落付くべし、勿論本事業は極めて有利有望なる事業にして現在の如く滿洲方面のトップ輸入杜絶の折柄なれば假令將來とても各方面の狀況より推測すれど餘り多くを期待する能はざるべき事情の下にあれば滿蒙に於ける本事業の將來は蓋し多事多望と云はざるべからず然れども事業着手の當時より良質の品物を製出し且つ相當の利益を擧げ得べしとも思はれず數年の間は試驗時期と見るを至當とすべし、然らば今直ちに都督府より交附し來るべき一千萬圓に對する補給利子を倍加し來るは極めて困難なる事なるべしと思惟せらる、然れども翻つて思ふに本事業は前述の如く極めて有望のものなれば滿鐵方面にても遠く人を蒙古地に派して十分の調査を施行し近日引揚げたる有樣なれば或は倍加したる一千萬圓に對し滿鐵側より補給利子を交附するやも測り難く或は又製品の良否に至らば或は資本増加の決行を見るに拘らず軍隊側より是れを支辨し來らば同斷なりと雖も滿鐵側の調査も未だ發表されたるを聞かず況んや幹部の議に上りたるをや又軍隊側もしかく無謀なる補助支辨の方法は執らざるべし、斯くの如く思考し來れば資本金倍加說は得て信じ難きものなるべしと打ち消し更に言を轉じて資本金の如何は別問題として兎に角に斯くの如き有利有望なる事業が日支人合辨の下に創立を見るは極めて慶賀に堪へざる處殊に該工場敷地は奉天に設置さるべく內定し居れりと聞く、而して工場敷地に對しては支那側に於ても多大の厚意を表し居れりと聞けば其前途や愈々祝福に値せん（奉天）

○移民村農況

滿洲東拓移民村の作柄は氣候雨量順調にして一般稻作の成績良好にて昨年よりは二三割方增收の見込なる此地方移民は既に七割の……關脇にして篤實熱心の指導改良の金を講じ水原寺山氏の如きは模範移民として……概ね七八十石の收穫あり加ふるに雜穀蔬菜の副業もあれば概して裕福なり（滿洲）

○咸冒藥の暴騰

◇平壤にては漸次終熄◇

滿洲と云はず朝鮮と云はず內地全般から諸外國まで其猛威を逞しうした感冒は今猶到る處で猖獗を極めて居るが幸ひに平壤では追々終熄を告げて既に學校でも授業開始以來日一日と登校者の數が增して來てゐる次第で之は誠に結構な事である、そこで一面今度の感冒のお蔭で儲けたものもあらうし又隨分悲慘な悲劇を演じたものもあらう儲けた方はと云へば先づ誰の目から見ても同じ樣に感冒藥で平壤でも當時報道した樣に最も熾な時などは一ばん賣れ口の少い賣藥屋でも一日十圓の賣揚があつたと云ふ事であつた隨つてその原料となる藥品はウンと價格が騰つてアスピリンの如きは最高平素の三倍位に上つたと云ふことで此頃では漸く二倍半位に下つてゐると云ふことである何しろ歐洲戰爭から此の方隨分高くなつてる藥品が云はゞ感冒位の爲に更に一層の飛び值段を示したと云ふことは今回の感冒がそれ程猛烈であるかが推測さるに難くはないつまり到る處に猖獗を逞しうした感冒のために俄に需要が激増して原料の拂底を告げたからで其他感冒藥の原料となる一般藥劑は二割乃至三割位の騰貴を來してゐると平壤某賣藥店主人の話である（平壤）

○古著の全盛

右から左へ

果して安くなるか

今に呉服が安くなるから一時古著で間に合はせる

此際平壤の古著屋は何處の店も嬉しい景氣で質屋から廻つた流品などは右から左へ賣れて行く尤も一般の好景氣と呉服物の暴騰で入質者も少いが流質も少いソンナこんなで多くの古著屋にも誂へ向きと云ふ樣な品が無い又あつても店に飾る暇もなく客に斷りを云ふのに骨が折れるといふ有樣である何故這麼に古著の賣行が好いかと云ふまでもなく物價騰貴の影響と一は講和を豫想して先づ新しき反物を購ふよりは古著で辛抱して幾干か呉服物の値が下つた時新しい物を購ふと云ふ連中が多いらしい（平壤）

○新嘗祭の日に

生徒の祭典

平壤の高等普通學校では一昨年から毎年十一月二十三日の新嘗祭當日には同校の試作場で作つた新穀を平壤神社に全生徒が參拜して獻上し神官に嚴かなる祭典をして貰ふことになつてゐるが之れは教育上誠に結構なことであると思ふ而して同校では三大節には必ず式前同神社に參拜して後學校に於て當日の式を舉行することになつてゐるさうで之れも二三年前から勵行してゐるといふことである、本年は新穀の外に上出來の大根と人參をお供へするさうである（平壤）

◇何處も彼處も◇

病人だらけの釜山

鐵道に與ふる事移し

釜山の感冒は……員に患者多く貨物積込に關係を及ぼし貨物積込の制限さへ生じ去る七日より三日間朝鮮港の連絡船は五十噸の剣の貨物專用船小野丸も三日間に一航海の割にて一航海二三百噸と制限された鐵道院釜山派出所の現在職員は百三十餘名で目下罹病中の者が十五名死亡者が一名あつたが之れが爲め不便を來たして居る處で釜山驛の方を聞いて見ると驛員二百十一名中其の三分の二は罹病者で內二名の死亡者を出て居るが殊に支障を來たして居るのは某係の如き三名中一名は勤務演習に召集され一名は罹病して殘りの一名で活動せねばならぬのには閉口して居るらしい鐵道院でも流行はせぬかと心配して居るが驛では大分昨今は下火になつたらしいと語つて居た

○奉天の町名を日本式に改む

◇神社の名や名所の名◇

其他粹な名の町も出來た

奉天新市街の町名は何れも支那式の名を其まゝ用ゐてゐたが今度愈々純日本式の名に改められた即ち浪花町、千代田通、平安通を初めとして此外三十九町名ができた

若松町、富島町、萩町、日吉町、富士町、加茂町、桂町、淺間町、宇治町、紅葉町、琴平町、新高町、常盤町、白根町、彌生町、木曾町、竹園町、葉波町、江ノ島町、隅田町、靈見町、錦島町、葵町、信濃町、紅梅町、橋立町、御町、彌生町、松島町、雲雀町、千種通、春日町、藤波町、稻葉町、若松通、住吉町、八幡町、琴平町、末廣町（奉天）

○奉天と町名

◇今度改正したる趣意◇

奉天の町名改正に就ては既報の如く從來西何條とか東何條とか云ふて判り難くい處が多かつたと云ふので滿鐵では早く是れが改正を行ふべく奉天有志者に會合を求めて……取つたとやらで八日に愈新町名を發表した。而して從來昭德大街とか瀋陽大街とか云ふ大通りは我が往時よりの帝都に因て命名したものが多い即ち千代田町とか浪速町とか、其れである、其の他は各地の町名を參考として改正されたのである、尚崎地方事務所次席は語つて曰く大連の町名等は大いに參考となつたが同地の町名は多く內地の國名を用ひた結果ともすれば郵便事務の取扱上錯誤を來す事がある樣であつたから奉天は此の點には十分の注意を拂つた積りである而して地番町號は大通りには附せず專ら各町に附し判明に容易ならしむる方法を取れり（奉天）

電燈奇談

（附）のろ〳〵電車の事

釜山支局　一記者

釜山の電氣にも困つたものだ、電燈が不時に屢々消えたり電車が止まつたりイヤハヤ、それを思ふと未だ京城の御方々は仕合せと申さねばならぬ、最近の逸話を一つ二つ拾つて見よう

某實業家舌を捲く

電燈と電車とで

內地から始めて釜山へ來た許りの東京某實業家が上陸して見ると例の通り電氣が暗くなつて往來の電球が赤い絲の樣になつてゐるので酷く感心して曰く釜山の軒燈は一二燭で濟ましてゐるのですかとは恐し柔適の方であらう、それから此實業家が電車に乗つて市中を一週すると例に依つて其の鈍さこと夥しく驛前まで一時間と十五分掛つたので傍人に『釜山といふ所は其廣さが東京と餘り變りませんね』とは之も秀逸の內であらう因に東京市中の電車は汐止から淺草、上野を廻つた上に芝へ歸つて一時間と些し位しか掛らぬ事を斷つて置く。

病室に女の幽靈

明くなつて大笑

それから是は某病院の話であるが或る患者が御多聞に漏れず感冒の神に取付かれて入院中例によつて電氣が消えたのであつたが折も折其の時釜山の事情に馴れない或る婦人が見舞ひに來てゐたと思召せ電氣が消える途端、丈なす髪を振り亂した白衣の怪物がヌッと其病室へ入つて來たので之を見たる見舞の婦人はキャッと許りに腰を拔かしたといふが程なく電氣が明るくなつて見れば背の人並外れて高い一看護婦が時も時で丁度洗ひ髪のまゝで來た事が判り大笑ひで木なしの幕とは飛んだお茶番である

慶北共進會彙報

◇◇共進會案內◇◇

◇◇第一號館　小林特設館を觀覽後踵を返して更に北進するときは第一號館の入口に到るべし第一號館は白堊塗二重採光の建物にして面積二百八十坪を有し金色燦然たる第一號館名を記せる門を入れば正面に本道産業の大勢を窺知するに足るべき中心飾あり即ち農產蠶產等の輸移出狀況を知らしむべき裝置にして技巧鮮かにして且つ通俗的なるを以て一般觀覽者をして肯定せしむるに足るべし之を左折すれば總督府出品の參考品は朝鮮特產品の主なるものゝ羅列にて殊に人目を惹くは八尺有餘の剝製猛虎の咆哮せる狀は人足を留め觀覽者をして右折すれば總督府及び中央試驗所並に勸業模範場等の參考品二百餘點何れも珍奇ならざるに加へ配列其の宜しきを得て頗る斯業改良上好參考たるを失はず

◇◇醸造品　全鮮を區域とせる醸造品酒百五十點味噌廿五點醤油百點は格子門に紅葉を以て一割をなし金色燦然たる瓶を背景として整然と陳列され酒品評醤油かゞ月桂冠は何れの地に落つるや當業者の何れも固唾を呑んで待つ所なるべし

◇◇織物　醸造品陳列場より道內生產各種工藝品陳列場に入るものにして劈頭織物陳列場あり陳列數六百五十五點にして其の種類は麻布、綿布、絹布、其他交織布或は毛布等あり何れも精巧優美なりと雖も文化の進展は品位の一定、技術の統一、品質の向上等社會の需要狀況は稍之を許さず觀覽者は此の點に致し進歩發展せる機械織に稱香し益以て本道副業的生產として發達せる尚州紬（年額廿萬五千圓）安東麻布（同五十六萬千圓）一善城木綿（同八十八萬圓）の聲價の騰揚に努むると共に他を誘導助長するの要あり尚州郡機業組合安東縣織布組合、大邱南、秋兩人の特別出品の如き其の織方等に於て確に進歩の跡著し

◇◇煙草　製造煙草の出品は五十點にして出品人は何れも大邱市內の業者にして之が陳列は製造業者聯合して統一せる陳列を爲せるは特に興深しく感ぜらる

◇◇麵類菓子　其の出品麵類は卅一點菓子類は卅八點共に出品者固唾を呑ましむ而して其の產額未だ大ならずと雖も將來大いに發達の素地を有するものなり

◇◇製紙　出品點數二百五十點にして慶尙北道の製紙は年額六十餘萬圓を產し本道に於る重要物產の一として本道は羅朝初め一時代よりの世に貢せしと稱する沿革を有するものにして此の票麗を有する時代に於ては一層本業の發達するあり慶州に接せる清道郡製紙に秀名にして兩郡共に製紙品を組織し其の寸法に適方に共に改良の指導宜しきを得て其の改善の跡顯著なり本道に於る製紙は遠く滿蒙北鮮地方に輸移出せられ將來大いに囑目すべき事業たるを失はず

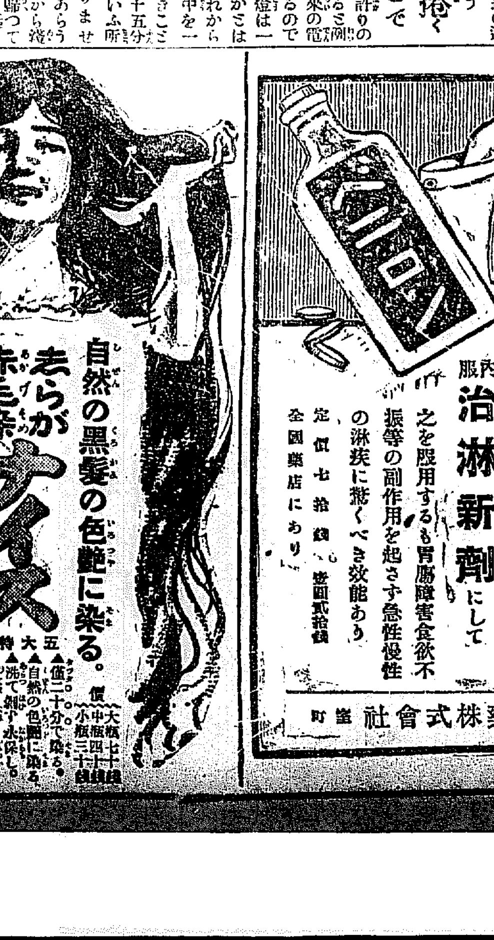
◇◇其他　文具、皮革製品、肥料、農具、木竹製品、金屬製品等の出品物二百八十點は紙品に亞で順次陳列され秩序整然として陳列さる佳麗精構なる出品物あり

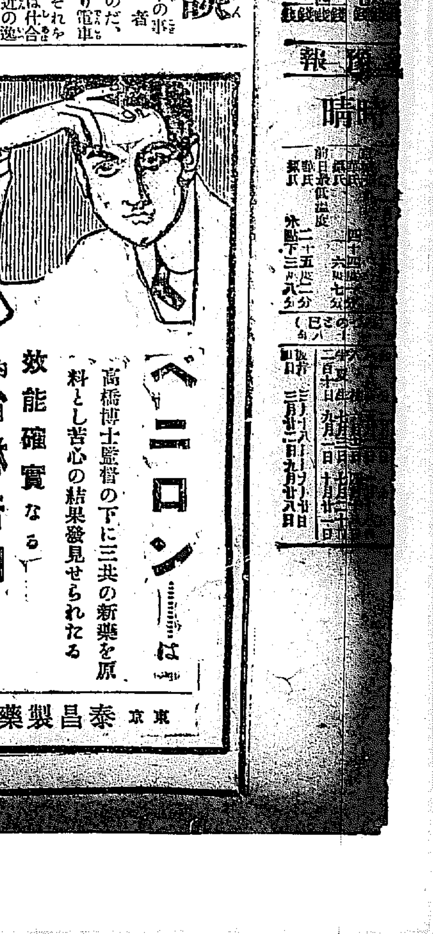
◇◇莞草　製品出品數四十點慶北の莞草製品の業は近時社會の需要増加に伴ない著しき進歩し家庭手工として經營するものあるに至りたるは大に囑目すべき事項とす

◇◇陶磁器　本道陶土に富むは夙に定評ある所なるが從來製陶業の發達せるものあらざりしが近時大邱陶會社の創設と共に民間人の陶業等興らむとするは喜ぶべき現象にして其出品中品質優良なるもの鮮からざるは大いに人意を強うするに足る出品點數九十一點を算す

◇◇呉服　三越、白木屋及び大邱三中井呉服店等より出品せる呉服類は各種珍麗なる各種織物を陳列し衆目を惹き殊に婦人連の足を留むるもの妙からず

◇◇園藝品　果樹蔬菜陳列場へ足を斜に運べば眞紅美なる苹果、梨、柿、栗等雛段上に整然として配列され觀るものをして、轉た垂涎せしむ、出品點數二千三百點の多きを示し優品頗る多し、蓋し果實類は本道の特產品にして內地北鮮滿蒙等に輸移出せられ既に定評あり、產額近年著しく增加し苹果、桃、梨、葡萄等產額今や四千萬貫を算し輸移出高十七萬貫餘を算する丈けありて其園藝思想發達特に大なり、園藝を解するものは文明人なりとは世界の定論たり希くば一府の園藝發達を望む、園藝品陳列棚に接し果樹に結果せる累々たる林檎は見逃すべからざるものとす





報　豫　晴

商況

東京株式口電

十一日後場 先限引値
東株 一七四、四〇
同新 九七、九〇
郵船新 一八七、二〇
滿拓 [illegible]
鐘紡 二一九、二〇

東京現株中値

十一日
朝鮮銀行 一五五、〇〇
同新 [illegible]
南滿鐵道 一三三、〇〇
第一新株 九八、〇〇
第二新株 五八、五〇
東滿製糖 一三三、〇〇
朝鮮製糖 八一、〇〇
滿洲製粉 二二、〇〇
京城電氣 五八、〇〇
朝鮮瓦斯 二〇、〇〇

東京期米特電

十一日後場
高値 三十二圓四十九錢
安値 三十二圓四十三錢
止め 三十二圓四十四錢
十二日前場 三十二圓六十一錢

大阪株式特電

九日後場
宇治川水 五〇、〇〇
京阪電鐵 五〇、〇〇
東洋紡績 五〇、〇〇
合同紡績 五〇、〇〇
鐘淵紡績 五〇、〇〇
同上新株 四〇、〇〇
東洋製糖 三八、五〇
大阪商船 三五、〇〇
同上新株 五〇、〇〇
郵船株 五〇、〇〇
同上新株 五〇、〇〇
東京株式 五〇、〇〇
堂島米穀 五〇、〇〇
大阪株式 五〇、〇〇
同上新株 五〇、〇〇

大阪三品特電

十二日前場
十一月限 三四一、九〇
十二月限 ……
一月限 ……
二月限 ……
三月限 ……
四月限 三一三、〇〇

大阪期米特電

十二日前場
當限寄付 ……
中限寄付 ……
先限寄付 三一、八五

兵庫期米特電

十二日前場
先限寄付 三三、三四

下關期米特電

十二日前場 保合、底堅し
當限 中限 先限
寄付 三三、四四 三三、〇〇 三三、三二
高値 三三、四〇 三三、五〇 三三、三五
安値 三三、四〇 三三、五〇 三三、二〇
止め ……

雜報

●三品案外氣丈

過般米の三品落潮は主として講和氣分に支配されしものにして此間の成行は目標とする米棉なし、講する所の風あり、棉高に騰かず棉安に附隨し易き傾向を免かれざりしが今朝は第一の懸念たりし講和問題も愈々獨逸が聯合軍の要求條件の全部を承認し休戰定約に調印せりとの市場の人氣は之を見越し來りし事とて今朝は之が影響あるも外觀ぶきのみならず當限三百四十一圓先の十三圓方も歸つて小高きを示し昨後場より

綿布 三銀は先物 九圓五十錢

の入也なりしが限先果して如何なる成行きを辿るか

●正米ヂリ安

昨來河筋物二千叺以上の廻着ありしも過日來引續き入荷薄の折柄旬にて荷主の懷は裕かの折にもあり、値は兎角寧ろ騰勢にて日本種八圓四五十錢在米ありて八圓より八圓二三十錢を唱へ居れり

對獨休戰と株

對獨休戰的定調印濟は別項の如くにて過般來講和批判へ[illegible]、此間の相場は何れも既に今日迄に來り株式三品等は之が先に對して[illegible]、現に株式は[illegible]、又項の如く小高き移りあり

油

近頃ライジング物又荷[illegible]、切れ昨今にてはスタンダードのナフサーあるのみにて値段は十八圓二三十錢を唱へられ自然硬の成行きなり

●亞鉛は不況

亞鉛は地相場二十四圓處を保合し過般來大手筋の米國より約二千噸を入したる結果市場は頓に悪化し遂に三十二圓と二圓方低落を傳げたり而して大手筋は更に近く一千噸を輸入する筈なるが我國に於ける亞鉛の消費は一箇年約二萬噸にて過剩なる状態なるに今三千噸を輸入したる以て之が消費は短時日にては困難の事に屬し從つて當分亞鉛市場の好轉を望み難き模様あるより一般に前途を警戒し敢て買付くるものなき状態なりと

●砂糖強氣

砂糖後格は變らず取引値は依然十七圓乃至十錢處の唱へ居れるが先頃の如く内地市況不味なりしにもかゝはらず新期高値の入荷あると会社側の強硬にて買手筋は今頃一段上押しの見込なり

手堅く殊に本來の入荷を見込む 内意頗る

下關相場

▲朝鮮米も不況其後出廻り途切れたるも目下の在米は何れも高値時代の持越しなる為め餘り安くは放し兼ねるものゝ如く然れども何分内地正米の崩落に陷りつゝある際に加はへ産地の如き減じて安報を傳へ居るを以て自然買氣の薄く大氣不況なり

各地商況

●大邱米況 十一日

▲玄米 弱保合 市場正米は殆ど皆無の有樣なるが其後瓢記定期米軟弱を傳へ居るため前後共一向に買氣起らず實物は依然古米のみにて成行き商は買溜み出す勢ありしも、今日非常に乏しく分一般講和問題に依りて取引は市場一般講和問題に終りたるが此の取引は相當に熱迷びなるを取引さず

▲新大豆 弱保 昨十六圓三十一圓八九十錢と保合に手合あり今朝寄付十五錢より三十錢に回百餘叺を増加したるが何分正米の不勢に氣勢無く打たれたる模様あり跡買方の商状にて實物筋の旺に増加しつゝあり

釜山物殼市場 十一日

▲正米(強保合) 不味なりし市况も今日に於いては移出筋は内地より買注文弗々入り來りたるに據つて保合成りしに就ては大體に於ても精米必需筋も荷動きの多少なり[illegible]は相場迫合みにて市況活氣なきもの[illegible]手合せの進行に遅れてチ[illegible]くさ頭重くなる最後には底意強き傾向の爲め米の通りにて三千叺内外の取引行はれたり

京城正米市場

氣配は別項の如くにて出來高は玄米六百五十五叺高値二十九圓安値二十八圓錢九百九十二十八叺白米三百大麥七百叺七十八十錢小三十三圓二十三叺十四錢の手合せあり

▲新大豆(保合) 變らず出廻りて途切れて買物澤の手持筋の買腰は強きも京み入は出廻期のことゝて先の安を氣構へて別に高くは追はせざる爲め前途後者氣配は別に變らず保合ひ居れり

南大門廻殼

天安米六七叺、後端 粗二〇叺 論山米三十四叺 新秋米三五九叺 半譯白米三七叺 郭山粗二三叺 半譯白米三七叺新秋大豆三六叺 半境栗一八叺 物開小麥三九一叺 鳥致院三四八叺

仁川正米

▲糧の入荷弗々あり氣配變らず
▲正米券は別段變る模様なく前日同様保合にて弗々商談行はれ居れり

生魚市場

◯京城日丸市場 釜鱈減して一般荷廻り少なく雜魚高からず たい五〇ちめたい三さくら四分 ひらめ三六めびろ三ひらめ三

十二日前場 仁川期米

(保合)

先二十六圓 四十三錢と一錢

安に寄付き四錢と跳ねたるも賣物多く一

▲第一節各地前寄米悪しく當市中先二十六圓四十三錢に寄付き四十四錢と跳ねたるも賣物多く四十一錢迄押し返し二錢引

▲第二節當中限先四十三錢と押し寄付四十三錢より賣物多く押し寄り四十二錢より

▲第三節大阪期寄付十二錢引けたる後十一錢の入り、又以下は[illegible]

▲第四節當市中先四十三錢より[illegible]

▲第五節當中限先二十八圓五十錢引中十七錢より賣物多く三錢と押し

十一日後場

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎

仁川海岸町三丁目 電話長六五番

市場雜觀

▲昨後場は大阪前場三節八十錢五六節七十六錢七節八十錢八節八十四錢九節八十一錢十節八十五錢十二節東京三十一錢兵庫〇九錢下の關七十六錢の入電後場米中に十七錢先二十六圓三十錢との入電あり當地當限米中不中二十七圓十錢寄付きたるも買物多く四十五錢まで上伸したるが賣物漸く多く二錢と押し二錢方一節を迄つたる三節當二十八圓五十錢中二十錢より四十錢と押し三十錢と跳ねたるより[illegible]

賣方優勢

氣迷ひ

減少安値

仁川米豆取引所 十二日の一月限

前場寄付	二十六圓四十三錢
同高値	二十六圓四十七錢
同安値	二十六圓四十三錢
出來高	[illegible]

白米小賣値

三十八錢
三十七錢五厘

株式會社 仁川米豆取引所仲買人
全 高田仲買店
●前金御注文は紹介を不要候 ●營業案内及電信略號表進呈
仁川海岸町三丁目
電話長一〇〇
振替三八一
電話長一一九

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

仁川海岸町三丁目 電話長三三・三六・八番

仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助

仁川港町 電話長三三十一番

東京期米 十一日

▲前場 休日前頭重き氣先北國筋北米前途買ひしも地場軟派の賣物に三十九錢と軟弱に寄付き其後二十錢迄叩かれたるも跡前手筋の買防に止は結局四十錢と戻し底堅く散會したり

大阪期米 十一日

▲前場 中限に對する高見一派の賣進と各地の安寄を傳へ先物一圓九一錢と下放れて寄付き更に七十錢に落したるが中方筋賣方の利喰に八十錢に戻し跡賑はひ現はれたるも東京の跡高に結局八十五錢と小戻したり

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

仁川海岸町三丁目

大阪株式 十一日

▲前場 今朝氣配ボンヤリなりしが寄付は比較的平堅く折柄一の週に至り東京の引込を入れて活氣付き一般一寸引締 振合を示し指定株鐘紡新舊二圓三八十錢商船も弗々一圓三五十錢郵船二圓方各引進し大株三圓八十錢高に散會したり

毛谷村六助 卅六番角力

桃川桂玉口演
浪上義三郎速記

…溝口半之丞は女の頼みを聞いて奇異の思ひをして居りまする、女は猶も進み寄つて女『只妾の罪の重なるのみ泡に情ないとでございます、貴下樣はお若いけれど妾をる、御覧なされこ更にお若きも無い樣子、依て此の願ひも叶へて下さりませう、河にも恐れ入りますが、妾の念佛修行の内此の兒をお抱なされて下され』と最と哀れ氣に頼みまする 半『オーそれは最と易いこと、性ある人の危きを救うて遣るも道理は一ツ、さア〳〵抱いて、死しても迷うて浮べぬものを浮べてやらう此處へ出せ』女『お嬉しう存じます、それではお願ひ申します』と渡す嬰兒を受取つて抱て見ると、コハ如何に、其の重いこと何十貫 半『エ、重い嬰兒だな』女『其の故願ひが叶ひません、何うか何うか…

御抱き』と幽靈は西に對つて鉦の鳴く樣な聲を出して南無阿彌陀佛々々々々々々々と唱へる念佛の長きこと、次第〳〵に嬰兒は重くなる、今は流石に堪へ兼て 半『オイ幽靈、餘り長い、もう少し念佛をつめて遣つてくれ、堪らんわいと云へども更に無頓着、軈て百萬遍も讀んだと見えて最と嬉しさうに 女『コレは〳〵有難う存じました、お陰を以て母子二人が得脱往生いたします、何か貴下樣へお禮をいたし度うございます』さは云ふもの、此の身の上、斯る物と云つては何一ツございませんが、何か貴下はお望みがございませうか、それを被仰つて下さいまし 半『然うさの、幽靈から禮を貰ふのも心苦しい、まア早く兒を取つてくれ、俺の腕が拔けさうだ』女『それはお氣の毒さまでございます有難うございました』と渡す嬰兒を受け取る、此方は半之丞例へに云ふ重荷を卸したこは茲だ、何うも重かつた 女『然うでございましたらう、時にそれを…』

…はほくとのこと明けて居り、是より何れはこげ方を授けてくれたかこ自然と身の内も動き、俗は幽靈は後方を見れば、御影で刻みし地藏は諸手をかけて引立てれば小兒かと捺つに異ならず、若しや此は木像かと能く〳〵見れば石像に違ひないい、扨は此の女を殺せし、何百貫、俗は急度かつたりと喜び歸宅を致して其は不思議の事なりと、是より半之丞は戰場往來をするのに産女の指物を爲す、幽靈から授かりしこと云ふは虛誕、英雄人を欺くの譬への通り疑う事はなければ人々が信じません、何でも人に知られようこ云ふのには變つた事を爲なければ叶けません、是より此の人をお化半之丞幽靈半之丞と申しました、時は何時なんめの元龜元年三月越前手筒山の役に當城將は朝倉玄蕃頭景種、北國の鬼武者と呼ばれし豪傑、籠る處の兵二千五百、城は天然の要害なり、兵士は北國武士、城將は鬼玄蕃、織田徳川の二旗に…

…前後より嚴しく攻め立てれど、能く守り能く防ぎ容易に落ちる樣子もございません、此時織田の先陣柴田權六郎勝家、五百餘人の手勢を勵まし無二無三に攻め立つる、茲に彼の溝口半之丞一人乘出して大功を現はすこいふ、其は次席

◯奉天小洋暴落

久しく高價を續け來りし奉天小洋は一昨日より暴騰し兹三日間に百圓に對し四五圓の差を見るに至れり之が原因は倫敦銀塊相場の少しく動きたるに基因すべきも或人の説に依れば上海銀塊相場が餘り今日迄高値過ぎたりしを今回講和説が甚だ有力となりたる結果漸落步調を來し一方中央に於ける金…

…融が主和に傾かば將來必ず金本位に改正さるべく等流言蜚語紛出の結果更に動搖を甚だしからしめたるものなりこ近く特産出廻り期に逢するなれば金の漸騰は邦商に取りて甚だ有利なりと輸出商は一般に甚だ景氣付つゝあるが如し

乳牛 陸病院 衛生試驗所 朝鮮 御用 岡野牧場

京城東四軒町 電話一〇六九番

◯安東縣近事

▲行政委員任命 安東民團行政委員長成田吉俊氏辭任に付其の後任として平尾錫彦氏任命されたりと

▲田中侍從武官 西伯利軍慰問の中侍從武官の一行は十日夜行列車にて南行せり

▲高島中佐來去 關東都督副官高島彌之助氏は中田侍從武官の一行と共に北方巡視中の處同一行見送りの爲め十一日午前六時半着列車にて安東に來り同日午前十時四十分發列車にて歸任せり

▲分局長會議無 採木公司各分局長會議は每年開催し來りたるも今年は都合により之を中止し隨時分局長の來安を利用し其の用を充たしつゝあり

▲上流筏見合 採木公司の流筏は近々寒氣加はるに隨ひ作業困難なるを以て中江鎭以下には流筏を見るべきも其の上流は流筏を見合せ堰止に堆積に着手したりこ

▲…の内報ありしも十一日午前七時四分發列車にて南行せり

十一月十四日九星

舊十月十一日 乙丑 本命 二黒 坤滿亥引

▲二黒 慾に負ける事有 ▲三碧 先の見にぬ事、行事に商賣物に用心せよ ▲四緑 虫の好かぬ事有、遊ぶ事になる、又は爭事防ぐべし ▲五黄 悪性の誤を仕し苦情おこる ▲六白 愛想の事有 ▲七赤 萬事運つよし ▲八白 厄介な賴み事 ▲九紫 …

十一月の衞生

(ミツワ文庫七ー一)

冷性、レウマチス、便秘

俗に謂ふ冷性――疝氣、寸白、肩癖、レウマチス――
色々の神經痛――治り難い腎臟炎――忽ち生命を奪ふ腦溢血――氣の塞ぐ便秘――便秘などから起る痔疾――營養を不良にする下痢

▲冷性

追々寒くなると人一倍着物を着ても寒くて堪まらず、夜具に入つても手足や腰などが冷えて寢つかれず湯たんぽや炬燵などを入れても温まらないと云ふ人がある。之を俗に冷性と謂ふが其の原因は貧血であつて血の循環が不良なからである。斯樣の人は顏色が蒼褪め、唇や眼瞼が淡紅色となり、仕事に倦き易く、筆に動いても呼吸が促り、心悸が亢まり、頭痛や胃痛を訴へ、食慾は減り大便は祕結し、婦人に在つては月經が不順となり大抵は少くなる

冷性を治すには精神も身體も安靜にして、榮養に注意し成るべく消化し易い食餌を選び、乳や雞卵、又は綠色の野菜殊に菠薐草の如き物を攝り、鐵分を含んでいる滋養料即ちミツワ規那鐵葡萄酒や複方肝油ドロップスを用ひ、ミツワ製劑としてはミツワ人參錠を連服するに限る

▲レウマチス (疝氣、寸白、肩癖)

昔は感冒がレウマチスの原因になると云はれたが、レウマチスは一種の傳染病であつて、秋や春殊に秋雨こか梅雨とかいふ濕つぽい時候に多い。急性關節レウマチスは熱が出て、關節の上の皮膚は往々紅くなり腫れると熱く、壓すと痛み、今日は此關節、明日はあの關節といふやうにあちこちの關節が痛む。慢性關節レウマチスは多くは無熱で、唯節が痛み、動かすと軋るやうな音を發する。筋肉レウマチスは筋肉が痛むので疝氣、寸白、肩の凝なごはいづれも是の一種である。之が豫防として感冒を避け、濕氣を避け、刺戟の少い石鹸で浴して身體を温かにし、若し之に罹つたなら處方公開のミツワ解熱錠を服み、痛む部位にミツワ鎭痛液を塗るに限る、ミツワ解熱錠は熱を去るのみでなく疼痛を鎭める良藥で感冒にも頭痛にも効く

▲神經痛

神經痛とは其の侵された神經の範圍に廣がる疼痛で、其の神經の名稱に從び、三叉神經痛、肋間神經痛、坐骨神經痛等稱へられてるが其の原因は未だ判明しないが、感冒は其の誘因となるもので、切るやうに、錐むやうに、裂くやうに灼くやうに劇しく痛み、其の疼痛が數分から數時にも及び、其の間…

▲腎臟炎

腎臟炎は知らぬ内に始まつて、なかなか治り難いことが多い、之には急性と慢性とあり慢性には稀ではあるが、いづれも大抵感冒から起り、尿の中に蛋白が出て、尿が少くなり、色が變つて濁り、分量も少くなる、時によつては多くなり、食慾は減り、顏色が蒼褪め、顏や腰から全身に浮腫が來て、重い眼病が起つて見えなくなつたり卒中で倒れたりする。又尿の成分が血の中に入ると、尿毒症即ち頭痛、嗜眠、心悸亢進、嘔吐、痙攣、皮膚掻痒等の症状が來る。

之に罹つたなら身體を温かくし、腎臟の機能を代理させるやう皮膚を清潔にし、酒、濃い茶、珈琲、香料、酢等刺戟する物を禁じ、ミツワ複方人參錠を服むに限る。本藥は利尿の効ある人參を主藥とし、それに腸内の毒物を排泄させるヨード劑などを巧に配合したもので腎臟炎や種々の心臟病に良効ある他に比類なき人參製劑である

▲腦溢血 (中氣、中風、卒中)

年を取ると毛髮が白くなるとか又は脱けるとか、齒が脱けるとか、目や耳が疎くなるとか、精力が耗るとかいふやうなこと共に、動脈が硬くなり脆くなる、それで動脈が然うなつて破れると、腦溢血即ち卒中或は中氣を起すが、是は冬の初めに多い、それは冷氣の爲に皮膚の血管の血が少くなり、腦や内臟に血が多くなり、壓力が強くなつて血管を破ることになるのであらう。

之れを豫防するには酒の濫用、梅毒、便秘、身神の過勞等を避け、ミツワ複方人參錠を服むに限る。又一度中氣に罹つたら治つたやうでも再發する事があるから、決して油斷せずに本藥を用ふるに限る。本藥は老衰を防ぐ人參を主藥とし動脈の硬くなるのを防ぐヨード劑などを加へたもので、卒中を豫防…

▲便秘

一體便通は一日に一二回あるのが通例であるが、之よりも少いと腹部が壓されるやう張るやうな感じがして甚だしくなると痛んで、食慾は減り便通のこき強く努責むから肛門が痛み、往々出血し痔疾を起し、遂には頭痛や眩暈を催し、上勝ちになり、氣が塞いで仕事が手に着かないやうになる。斯樣な祕結症の人は、野菜や果物など水氣の多いものを食べ適宜の運動を試み、内容明示のミツワ下劑錠を服むに限る、本藥は家庭用の下劑として、腹を痛めず又習慣にならないカスカラサクラダ流エキスと複方甘草散を適當に調合したもので、常習便秘には勿論の事、便通の思はしくない場合に最も良く效く

▲痔疾

痔疾と一口に謂ふが之にも種類がある、今主なるものを擧げてみると、疣痔即ち挑痔は肛門の内或は外に豌豆位から胡桃ほどの大きさの結節が出來て、便通の時殊に痛んで往々血を洩らす、次に疣痔即ち穴痔は肛門の周圍に瘻に深い孔が開いてそこから膿を洩らしみを起す。肛門裂傷即ち裂痔は肛門の入口の粘膜が龜裂のやうに裂けて便通の時非常に痛み出血する、以上の痔疾の家庭治療としてはミツワ緩下錠により便通を適宜くし必ずミツワ痔疾藥を用ふるに限る

▲下痢

便通の少いのも良くないが多過るのも良くない。腹部がゴロ〳〵鳴つて度々便意を催し軟かい糞の樣な甚だしきは水の如き便を洩らし全身が疲れて倦怠く、それが永く續くと營養が大いに害はれる斯樣な下痢を治すには入浴して身體を温め、冷たい飲食物や刺戟の强い食物を禁じ、ミツワ石鹸を使ひ…殊に腹を温め、冷たい飲食物や濃い茶、珈琲、水飴其の他消化し難い物を攝らず、ミツワ止瀉錠を服むに限る、本劑は科學的に其配合を研究した結構な良劑である、又下痢が永く續く場合には滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふるのが適當である

ミツワ人參錠百錠五十錢、五百錠二圓、ミツワ複方人參錠百錠五十錢、ミツワ規那鐵葡萄酒一瓶一圓七十錢、ミツワ解熱錠百錠四十錢、複方肝油ドロップス百粒四十錢、ミツワ鎭痛液一瓶四十錢、ミツワ緩下錠百錠七十錢、ミツワ止瀉錠四十錠廿錢、三百五十錠五十錢、ミツワ痔疾藥六個四十錢、廿六十錠四十錢、小廿錠廿錢
發賣品目錄送呈 東京橘町 丸見屋商店
販賣店 ミツワ石鹸本舗 東京市日本橋區橘町 丸見屋商店

共同汽船出帆

仁川出帆(阿波共同汽船會社)
大連直行(關東都督府命令航路)
廿一共同丸 十一月十二日正午
十一月十二日前大汽船會社

仁川代理店 本町四丁目 野口商會 電話一七三番
元山代理店 南大門 (電話 二六〇、八二一番)
京城取次店 河合運送店

大阪商船出帆

(仁川出帆)
群山大阪行 安東丸 十一月十五日 正午出
木浦大阪行 信濃川丸 十一月 日 後五時出
(元山出帆)
清津行 安平丸 十一月廿三日後十二時
釜山門司宇品、神戸、大阪行 宮島丸 十一月十七日後九時出
(大連出帆)
上海、打狗行 北陸丸 十一月十九日前六時出
內地各港出帆主要航路
天津行 每週一回
南滿洲行 一年四回 北米行 每月一回
南洋行 每月一回

御注意 乘船切符取扱所 京城 大阪商船株式會社京城支店
電話二六〇番 仁川 同支店 電話二〇〇番

朝鮮郵船出帆

▲浦潮行(京城、元山經由) 平安丸 十一月十七日 元山發
平安丸 十一月十九日 ▲雄基行
平壤丸 十一月十八日 釜山發
▲雄基行(羅門、淸津經由) 山陽丸 十一月十五日 元山發
三浦丸 十一月十七日 元山發
山陽丸 十一月十五日
▲元山雄基線(元山起點各港經由雄基) 三浦丸 十一月十七日 元山發
▲大阪行(釜山、神戸經由) 平壤丸 十一月廿七日 釜山發
▲關門行(釜山、神戸經由) 山陽丸 十一月廿五日
三浦丸 十一月廿九日 元山發
×山陽丸 十一月廿四日 元山發
▲金剛山遊覽便(元山發、長箭、高城、一間) 日 元山發
▲鎭城丸 十一月十四日 釜山發
▲濟州島行(釜山發木浦每日一回出帆) 鎭城丸
▲群山行 長 十一月十九日 群山發
▲濟州島行(釜山、木浦經由) 昌平丸 十一月十四日 釜山發
▲濟州島行(木浦發) 慶興丸 十一月十六日 木浦發
▲西海岸線(公州丸) 十一月十九日 木浦發
▲釜山麗水線 麗水行 每日一回出帆
▲木浦麗水線 十一月十六日 木浦發
▲多島海行 多島丸 十一月廿二日 木浦發
▲木浦行(仁川發沿岸各地經由) 十一月十五日 仁川發
▲海州行(仁川發延坪島經由) 每日一回出帆
▲鎭南浦行(仁川發各港經由) 十一月十八日 仁川發
▲晋州行 十一月 日 仁川發
▲大連、芝罘行 十一月廿二日 仁川發
▲江原丸(京城南大門通) 十一月 日

本社 京城南大門通(電話長 二九五三)
釜山支店 元山支店 仁川出張所 木浦代理店 京城代理店
釜山(營業部) 元山 東京 山野運送店 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ 電話長一二七〇

京城日報

第五版

將來の國民精神

京城日報

一

臨時教育會議に於ける人心の歸向統一に關する建議案は、極めて重大なる意義を有し、其影響する所は獨り內地の教育のみに限らず當然鮮滿臺樺にも波及すべき者なるが故に、吾人は其の愼重熟議を望み置きたるが、其の後世論の趨向如何を按ずるに、案外にも反響甚だ微にして、此の重大問題に注意するもの甚だ少きを患はしむ。勿論こは建議案の內容尙秘密に附せられ、一般の注意を惹き得ざるにも因るべけれど、さりとは隨分無頓着といはざるべからず。

想起す、曾て貴族院に於て、百餘名の議員連名を以て、國民道德の振興に關する建議案を提出したることあり、其後又前の教育調査會に於て、委員の一人たる杉浦重剛氏より國民精神の振興に關する建議案を出したることありしが、其の當時に在ても、いづれも一般の注意を喚起し、多少なりとも當路を刺戟し、爾來政策の變更を促し、學生の徹底指導に關する法令の改正等を見たりき。此の國民道德の振興といひ、國民精神の振興といふは、名目に於いて多少の相違ありと雖も、所詮歸著する所は同一點ならざるべからず。今回の人心の歸向統一といふも、亦槪略の範圍を同じうするものたる論なし。而もかく同種類の建議が頻々として現はるゝは、所謂人心惟危く、道心惟微なるの狀態が、識者の憂慮を禁じ能はざる所にして些々たる法令の改正ぐらゐにては之を匡正し能はざるを語るものにあらずや。

二

此の憂ふべき狀態を、根本的に匡正するには、如何なる施設、如何なる方策を必要とするやは、目下臨時教育會議特別委員會に於て審議しつゝある所なるが、未だ內容を熟知せざる吾人が、之に對して妄に評論を試むべきにあらずと雖も、大體に就いての希望を陳ぶるは、決して閑言語ならずと信ず。即ち吾人の切望する所は、教育會議の委員が、徒らに老人の心を以て今日の靑年を律せんとするを止め、克く人心推移の狀態を洞察し所謂病人にも同情し、病人の心にもなり、其の症狀に對して適應せる良藥を投ずるに在り。吾人は老成人の圓熟せる思想の貴重せざるべからざるを知る。然れども老人は動もすれば既往を回顧し、靑年は只偏に前途に馳す、其間に多少の間隔あるを免れず。其の間隔を成るべく減じ、一たび靑年の腹の中に入りて、其の病を救治するにあらざれば、靑年をして心服せしむる能はざるのみならず、場合に因りては却つて反動的にあらぬ方向へ逸走せしむるなきを保せず。是れ最も注意すべきことならずんばあらず。

三

特に最も見逃すべからざることは、歐洲大戰亂の影響なりとす。此の影響の中には最も忌むべく嫌ふ可きものあるは、何人も否取する所なるが、又其中には眞面目に考慮すべき美點も少からず。即ち世界人類に對する大なる同情、並に正義の觀念の緊張發展等は、我國民に取りて決して輕視すべからざるものにして、要するに將來の世界を支配する道德觀念は、是等を出發點とするものたらざるべからず。我國民道德にして此の趨勢を無視するものならしめんか、結局世界の文明に取殘されたる、一個の後覺府都たらざるを得ざるなり。

支那は自ら中華と稱し、一種の誇を有するも、現在老衰積弱の國として取殘されたり。日本は維新時代に於て、既に進取の謀猷を決定し、列國と共に（或は列國を飛越して）進步するを得たり。將來とても飽まで此の既定の方針に遵據し、世界と共に進步するの自信あるを要す、支那の如き停滯せるプライドは斷じて之を棄てざるべからず。

四

歐洲大戰の副產物たる、吾人の最も嫌忌する惡思潮と雖も、材料として取扱如何に因りては却つて國民を警戒するの用に供せられざるにあらず。然れども之を供用するの前には、今少しく建國の理想を徹底せしめ、今少しく强く國民性を鍛へたる後ならざるべからず。然らざれば恐るべき失敗を取るの憂ひあらん。國民思想にして磐石の基礎の上に立ちたらんには、千萬の魔軍の襲來するあるも何の恐るゝことかこれあらん。畢竟世界の惡思潮に對し、臭い物に蓋するの手段を執るは無益の業なり。古語に敵の來らざるを恃まず備あるを恃むといへるは至言といふべし

五

要するに將來の國民道德は、從來よりも一層開國的ならざるべからず、又閉鎖的退嬰的なるを許さず。其目的は建設的にして、而も進步的ならざるべからず。日本の日本より進みて、世界の日本たるの用意なかるべからず。而も動かすべからざる第一根本義あり、曰く國體と一致すること是なり。

本紙定價　壹ケ月金七拾五錢　壹ケ年金八圓　廣告料金　五號十五字詰一行　京城府大和町一丁目　發行所　合資會社京城日報社　發行兼編輯人　奥田道之介　印刷人　小川三之介　電話

南北妥協如何

尙意見不一致

△平和會議困難　南北妥協運動は著々進行しつゝありと雖も未だ聲のみにして之が成立の期に至りては殆んど豫測するを得ず徐總統を中心とする北方側の妥協政策は法律問題を後廻しとなし先づ南方派の各勢力側たる唐繼堯、陸榮廷、李烈鈞、岑春煊等と意見の一致を圖り然る後長江督軍團の牛耳を取れる李純氏を仲介者として南北平和會議を組織し双方より同數の法律知識ある代表者を選出して法律問題を附議決定せしめんとするにありと雖も南方派は之を以て北方派に誠意なき證據なりとなし極力法律問題を先にすべしと叫びつゝあるのみならず平和會議開會の前提として北方派は先づ舊國會の回復及び舊約法の復活を認めざる可からずと主張し居れる有樣なれば如何に長江督軍團が仲介の勞を取るとも又北方各派が相一致して西南各省の切崩し運動に努むることも容易に平和會議の開催を見る能はざるべし

△北方派の態度　尤も北方派が表面無條件にて南方派と平和を握るの態度に出でなば平和會議は案外容易に成立するならんと雖も斯の如きは北方派從來の主張より見て到底望むべき事に非ず現に北方派中の穩健派さへ平和會議開催前先づ廣東國會をして新國會の選出せる現大總統を承認せしむるに非ざれば斷じて平和會議を開く能はずと主張し居る有樣なれば以て如何に北方派をして無條件にて妥協せしむる事の困難なるかを知るに足るべし之れ實に吾人が南北妥協の容易に成立する能はずと云へる所以なりと雖も然も內外四圍の政情は最早や何日迄も南北をして此儘相對峙せしむる能はざる形勢に向ひつゝあるを以て假令今日の所、雙方の意見に相隔ありとするも結局平和會議の開催を見一時的なりとも妥協成立するに至るならんかと觀測せらる（東亞通信）

南阿羊毛近狀

英政府態度未定

◇市場の開始　南阿羊毛市場は流行性感冒のため中止となり居たるが五日南阿發情報に依れば羊毛取引は最近開始され相場は目下昨年の高値見當にてコーミング用六十二片內外を唱へ居る模樣なりと云ふ本邦羊毛工業は昨年同樣南阿市場開始と共に買付を行ふべく既に本邦商人は那々取引をなしつゝあるもの、如し之に就き去月中旬プレトリヤに開かれたる牧羊者協議の結果如何は本邦にとり最も重要の關係あり

◇二個の決議　最近南阿よりの通信に據れば同會議の決議は要するに自由取引を許容すべき主張に歸結したるが如く唯だ之と同時に英國の本年度買上價格に就きての決議を爲し其に據れば英本國の昨年南阿に於ける買上値段が戰前の五割五分增しなりしを本年は七割五分增しと前年より二割方の引上を行ふべしと云ふ主張をなしたるものなり勿論前者自由市場たらしむるの決議は蘭人系の主張にして大勢を支配すべく推測さるゝものなるが後者即ち政府買上價格の引上主張は英人系又は劣等品の處置を考慮せる牧羊者の主張たるべく斯くして牧羊者は上等品羊毛を自由競爭に委せて可及的高價に賣捌き得るの利益と政府買上に依り下級羊毛をも處分し得べく而も買上價格の引上により羊毛の最低價格を上進せしむるの利益と兩者併せ行ひ得るが如き二個の決議を爲したるなり

◇羊毛市價如何　英國政府が南阿羊毛の買埋を爲し得べき望み尠く從つて自由取引に放任すべきは疑問の餘地無きものと云ひ得る次第なるが次いで起るべき問題は政府が買上價格引上決議に應ずるや否やに在り若し之れに應諾すれば一方に自由取引行はるゝ場合なれば南阿市場の羊毛最低價格の決定と同一效果を現出し從つて本邦及び本國の買付が前年の如く競爭的となるならば其市價騰貴は免れざるべし尙ほ此點に關し情報は傳へて英國政府の買上は格付を前年よりも細分する事により其評價を公平ならしむると同時に價格引上と同一の結果に至る手段を講ずるやも知れずと云ふ英國政府の態度如何は注目に値する次第にて孰れにしても南阿羊毛市價の成行は氣配强硬なるものありと觀測さる唯だ此上の問題となるは南阿に競爭買付を爲すべき狀態に在る本邦と米國が如何なる程度の買付を爲すや又其競爭の程度如何は羊毛市價に重要の關係を有するものと云ふべく南阿市場の成行は諸多の事情と共に本邦當業者の輕々に看過し難き所なるべし

邂逅

佐々木峰雪

四十七　毒藥（二）

其中に九月も過ぎて世間は紅葉狩に騷がしい十月の半ばとなつた。庄五郎は庄吉を連れて一日の日曜を箕面に遊ばうと、其旨を庄左衛門に云ひ聞かした。

庄左衛門は一も二も無く承知した。

『そりや好い思ひ附きぢや、庄所も喜ぶだらう、其時は坊も一所に連れ行つて貰ひたい、尤も坊にはお里と老爺が附るから』

『よし〳〵ぢや今が箕面は紅葉の盛りぢやさうな、善は急げ今度の日曜としよう』

『今度の日曜、今度の日曜と云ふと』

『今日は火曜ぢやから水、木、金、土日で二十四日ぢや』

『ぢや坊も一所に賴む』

『諾々』と庄左衛門の賴みを快よく引き受けて、笑顏の中に庄五郎は歸つた。

『坊』と庄左衛門は庄造を呼んだ。

『お父さん僕に用があるの』

『うむ』と庄左衛門は頷いて『今木津の叔父さんが見えたらう』

『あゝ、木津の叔父さん』と目を瞬つた。

『ところが木津の叔父さんの云ふのには、今度の日曜に坊の兄ちゃんを連れて箕面といふ所へ遊びに行くのだつて、そこで坊も一所に連れて行つてやらうと云ふんだが坊は行き度いか、行き度けりや叔父さんが連れて行つて下さるし、行き度うなければどうでも好いんだ、坊はどうする』

『さうだ』

『ぢや兄ちゃんも』

『僕行き度い、兄ちゃんと一所に僕も行き度い』

『ぢや坊は行くといふのだな』

『あゝ、坊行き度い。』

『其日はお里も老爺も一所に行く』

『嬉しいな、嬉しいな、兄ちゃん箕面に行くの』と庄造は夢中になつた。

『はゝゝ、そんなに兄ちゃんと一所に行くのが嬉しいか』

『僕兄ちゃんと一所に行くの嬉しい』と手を打つて悅んで居たが『そのお父さん日曜ていつなの』と庄左衛門の顏を覗き込んだ。

『今度の日曜か、日曜は二十四日だから、今夜と、明日と明後日と、明後々日と、其次の其次と五つ寢て六つ目の日なんだ』

『爾う、僕うれしいもう五つ寢ると兄ちゃんと一所に遊べるんだね』

『そんなに坊は兄ちゃんと遊び度いの』

『あゝ』と頷いて『僕母ちゃんに聞かして來るよ』起ち上つてお染の居室に入つた。

『母ちゃん』と側に坐つて『僕ね、五つ寢ると兄ちゃんと箕面へ行くの』

『は、』とお染は認めて居た手紙を下して『兄ちゃんと箕面へ』

『はい僕嬉しいの』

『まア、誰と、お父さんと』

『いゝえ木津の叔父さんと兄ちゃんと僕と』と息を切つて『爺やも行くし、里も行くんだつて』と手を拍つて悅んだ。

『お里も』とお染はすこし笑つて『一所に行くつてお父さん云つて居たの』

『あ、爾うだよ、僕嬉しい』

『もう五つ寢るといふこと』お染は指を折つて日を繰つた。

『今度の日曜なんだよ』庄造はあまりの嬉しさに、氣でも狂つたかと思ふ程跳ね廻つた、やがて毎日のやうにお里が入つて來た。

『お里や一寸』と手招ぎして『坊は一寸遊びに行つてお在で』

『あゝ』と庄造は云はれる儘に外へ出た。

『あのお里』と小聲になつて『いつかも賴んで置いた、それあれね』とお染は變な目でお里に知らせた。

『はい』とお里も膝を進めた。

『あの藥を菓子に入れて、二人に』

『うまくやるんですよ』

二人は小聲で、輕く額を寄せて居た。

秋郊散策　成田蒼石

逍遙山方近。深淺無灑然。染雲霜葉木。彩野菊花先。翁胡鬚極美。閑谷殊衆鮮。逍遙忘夕日。

學團曰、前驅奇巧、後喩鮮十秋日賣英、末經人道、無復物情。

悲秋　兒島九皋

落葉飛動客憂。蕭蕭鳴又悲風。愁百年人世已過半。不耐霜風頭。

學團曰、何等感慨。

安東　犁雲

孤燈明滅夜三更。尙聽窓前扎札聲。要覺不堪山館裏、無心絡緯道人鳴。

學團曰、極得孤寂之旨。

雜誌抄

◇盜難と火災（住宅）

◇盜◇　盜難　雨戶が明けられた場合を考へて戶と戶との仕違を凹凸にする必要あり、特に臺所の戶の如きは、盜難の多き時は障子のたまる事もあるを以て底なしの戶締まりにすれば可なり。又從前の二枚を打ち切る習慣もあるを以て二箇所以上の戶締にせば比較的安心たらん

◇火◇　臺所の揚げ蓋を注意せぬと、穴から火が落ちて火事となる事あり。又今度の煙突は偕化して破損するおそれあるを以て煉瓦又は土管等のものにする必要あり（三輪田元道）

大利益ある良副業
政府獎勵の緬羊飼育

定價金參圓八十錢　送料金八錢　四六版三百餘頁

家庭 學校 工場
科學的廢物利用法

物價暴騰の今日に際して斯る良書の出現せる蓋し偶然の事にあらず。本書は學校、家庭、工場、其他に於ける一切の廢物利用を以て各專門大家の研究の結晶なり。

本書五千部限り特に金貳拾錢を割引す
官公衙學校
振替東京二三六七六番　經濟攻究會

蠶

一錢銅貨を喰つて廿錢銀貨を生む

まさかに銅貨を喰つたり銀貨を生んだりはしないが、一錢の餌を喰へば鷄は二十錢の卵を生む、それで肉は最上の料理となり、卵が珍らしい位になつた。十羽も飼つて居る家では默つて一個月七八十錢の收入がある、鷄の卵は飛ぶ樣に賣れる。

十二月號美しい面白い新案満載
トモダチ
文學士寺田精一先生監修　東京九段二葉書店

十二月號理想的教育繪雜誌
幼女畫報

新案獨學イロハ辭典付
鮮語自在
笹山章著　發行所　ウツボヤ書籍店
誰れにもすぐに間に合ふ
必ず上手になる理
發賣元　京城太平通　京城日報社代理部（振替京城三〇〇番）

モーター
（半馬力以上三百馬力迄）
發電機　變壓器　配電盤　諸材料　在庫豐富

株式會社　奥村電機商會總代理店
大阪市南區末吉橋通二丁目
株式會社　安部幸兵衛商店　大阪支店
機械部　電氣部　機械工作所
製品課目
陸船用汽機、各種唧筒、鑛山用
肥料用諸機械、電氣捲揚機、
一般工作機械、傳導裝置一式

商業登記公告
[illegible]
京城地方法院

國民法律
坐右の法律顧問
萬人必讀の雜誌
東京麴町區　國民法律社

銀鉛鑛 亞鉛鑛 鑛石買入
京城黃金町二丁目百四十八番地　明星商會

優等清酒

發賣元　永樂町二丁目　本莊酒店　電話六五四番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、新義州、會寧、安東縣、奉天、滿洲里、長春、哈爾濱、大連、營口、上海、天津、青島、旅順、遼陽、鐵嶺、開原、吉林、四平街、傳家甸、龍井村
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

◇休戰條約調印と戰鬪行爲休止

十一日朝公式に發表されたる所に據れば對獨休戰條約は巴里の時間にて午前五時調印され戰鬪行爲は午前十一時より休止されたり(紐育電報)

◇休戰條約

米大統領議會にて發表

合同通信電報=大統領ウイルソン氏は議會に對し聯合國對獨逸休戰條約(一)休戰期間は十一月十一日より向ふ三十日間(二)獨逸は總ての損害を修復する事外九箇條を發表せり(東京電報)

◇新內閣組織

=民主改革の實現=

獨逸宰相並に內閣中流階級の閣員全部引退し社會民主黨員エルベルト新內閣を組織し秩序維持の布告文を發せり尙國民は皇帝自決の急ならん事を希望し民主改革の實現取急がるゝに至るべし(巴里電報)

◇朕は欣んで退位せん

獨帝正式退位

アムステルダム來電=獨帝は土曜日(九日)社會黨首領シャイデマンが獨帝の退位を要求せる建議に基き正式に退位せり獨帝は退位に際して曰く『若し朕の退位が獨逸の爲め利益なりとせば朕は欣んで退位せん』と(桑港電報)

◇獨皇帝蒙塵

獨逸皇帝は和蘭ユトレヒトに蒙塵せり(紐育電報)

▲附記 ユトレヒトは和蘭の中部ライン河畔に在り毛織物の產地として名あり亦西班牙王位繼承戰爭の結果ユトレヒト條約を結びし地なり

◇獨逸國改造運動

獨逸にては墺太利及び獨逸を含む共和國か立憲君主國にして聯邦帝國に非ざる一大鞏固なる結合國家に改造せんとの有力なる運動起りつゝあり(倫敦電報)

◇講和會議時期

=議長は佛國首相か=

講和會議は多分明春二月開かる可しとれ休戰條件の遂行に一箇月以上を要するを以てなり佛國首相クレマンソー氏多分講和會議々長たる可しと(紐育電報)

◇佛紙と平和會議地

佛國新聞は何れも平和會議地をヴエルサイユに主張し居れり(同上電報)

◇戰鬪目的成就

=米大統領の聲明=

大統領ウイルソン氏は十日左の聲明を爲せり(紐育電報)

我同胞よ休戰條約は十日朝調印を了せり米國が戰鬪を開始せし目的は悉く之を達せり今や全世界を通じて正當なる民主政治の成立を助するに當り眞面目にして友誼ある相談對手となり且つ物質上の援助を爲すは我等の幸福なる義務なりと信ず

◇英國民の歡喜

休戰條約調印され戰鬪行爲休止されたるより倫敦にては十日正午十一時祝砲を發し市民は歡喜措く所を知らず市中は直ちに國旗を掲揚し公園には群衆雜沓して立錐の餘地なく通行の各乘合自動車は熱狂せる市民を滿載し婦人連は著のみ著の儘にて往來に飛び出し踊り狂へり尙ダウニング街(外務省所在地)は群衆の混亂を防がん爲め警官は交通を遮斷せり(倫敦電報)

◇休戰條約と米國民

米國に於ける休戰條約調印の發表は市民をして熱狂せしめたり各取引所は悉く閉場し祝祭日の如き光景を現出せり(紐育電報)

◇獨海兵叛亂原因

獨逸叛亂の原因は獨逸軍力の崩潰の外食糧の缺乏と水兵に對する苛酷の待遇等にして叛亂は殆んど全獨逸艦隊に波及せり(倫敦電報)

◇叛徒伯林占領

伯林にて革命黨は完全に勝利を得たり叛徒は伯林を占領し郵便局市役所に放火せりと(巴里電報)

◇大野少將出發

新任朝鮮軍參謀長陸軍少將大野豊四氏は十二日午前八時半東京驛發赴任の途に就けり(東京特電)

◎ジャナン將軍の實話

獨帝退位說に關する

東京 一記者

八日東京を出發して西伯利に赴いた佛國のジャナン將軍は獨逸の內情を說く談話中の一片に曰く『獨帝退位は免れ難い事で有らう併し今度の戰爭は皇帝獨りの戰爭で無く獨逸國民がカイザーに隨眼し且つカイザーを刺戟して此大事を惹起したので有る此節戰況が不利に陷つたからと言つて戰敗全部の責任を皇帝のみに嫁し國民は關せず焉として濟まして居られようか又獨逸の國民性として斯樣な事が出來ようとは思はれぬ』更に一轉語を下して曰く『聯合國は獨逸の軍國主義打破を叫んで居るのは獨逸の再戰不可能を目的とする言分で無理からぬ事で有る併し獨逸の國民性としてウヰルヘルム一世以來建國の根本義として一世紀に亘つて把持し來つたミリタイズムを一旦の屈伏により左樣然らばと撤退しようか撤退すれば獨逸は解體の外なく撤退せねば列國は講和に取懸らまい此邊は外交の手腕で獨逸を再戰不可能の地位に置く外國內の事特に國民の思想にまで立ち入つてドーコーすることは六ケ敷からう』又曰くシャイデマン(獨逸社會黨首領にして國務大臣)は暮に獨帝退位を絕叫して居る(註此人は開戰以來獨帝の政治上に於ける參謀長でカイザーに多大の同情を寄せる否カイザーの腹心で有る此人が皇帝退位を要求するのは一寸疑に聞ゆるが此人が皇帝に退位を迫るのは皇帝の退位により聯合側の講和條件を緩和する魂膽に外ならぬ此人が獨帝に惡感が有らう筈なき事は受取れぬ斯人等の周圍から出る退位說は聯合國は眉に唾して聞かねばならぬ』と

◎新航路補助費

遞信局明年の新事業計畫たる仁川青島芝罘大連新義州南浦の各港を循還すべき定期命令航路の補助費は十五萬圓を計上されあり朝鮮郵船會社に命令する事となるべし

◎鐵鑛移出漸盛

鐵價の奔騰並に內地製鐵所の勃興より來たる朝鮮鐵鑛の採掘移出は本年に入つて旺盛となり更に內地製鐵所の事業擴張と共に朝鮮鐵石の需要は益々增加し來るべきが現に本年一月より十月末に至る鐵鑛の內地並に滿洲(本溪湖)輸移出高は八十九萬六千噸を示し之れを前年に比し五十四萬五千噸の增加となり居れり尙ほ十月の移出額は十六萬噸に上り居れるが此勢ひにて進まば本年の鐵鑛輸移出量は百四五十萬噸に達すべしと稱せらる

◎金價格稍軟調

地金は產出の減少と需要の增加に伴ひ市價は今夏來硬調を續け一時は出元にて六圓三四十錢市中にて七十錢を唱へつゝありしが近來產金業者中市の高値を好機とし鮮銀賣込を休止し市場に供給をなす者續出せる結果價格稍軟調を來せりと

◎統計講習會

第七日科目終了

統計講習會第七日は十二日午前十時より例の如く第二會議室に於て開會午前中は一般統計午後人口統計に就き講師二階堂統計官の講述ありこれにて同講習會豫定科目全部を終了し十三日午前約一時間半に亘り試驗執行次いで山縣政務總監の訓示を以て同講習會を閉ぢ午後農業生產統計に關する打合せ並に國勢調査に關する打合せをなし午後四時解散したり

◎林務主任會議

林務主任會議第二日は前日に引續き總督府第一會議室に於て小原農商工部長官統裁の下に開會午前午後に亘り林野事務に關する打合せを爲したり

◎隊署長會議

京畿道警務部にては京城府內各署長及び憲兵分隊長並に仁川警察署長を召集し十二日午後一時より鹽澤大佐主裁の下に恒例隊署長會議を開催し一般事務の連絡其他に關し打合せをなせり

◎鮮銀臨時總會期

新株發行報告の鮮銀臨時株主總會は第一回の未拂込み分十一月中には終了する見込に付多分來月十六日頃東京に開會する順序となるべし

◎殖銀店長會議

殖產銀行の第一回支店長會議は十二日々程の全部を終り十三日打合せを行ひ終了の豫定なりと

◎預金利子決定の根據

中村殖銀理事談

理窟はつけやう物は見樣でどうでもなる、殖產銀行の預金利子を定期年五分七厘に定め、鮮銀並に內地銀行支店の五分五厘と朝鮮側銀行六分の中間を採つた事に就き、色々穿つたやうな批評や同情な皆紙上で拜見したが

▲その觀察に 誤りもあるらし多少誤解する人もないと云へぬから一言陳べて諒解を得て置きたい、殖銀が年五分七厘の中間を採つたのは謙遜でもなければ卑下でもなく又自衞策と云ふ譯でもない全く銀行當局の預金利子に對する理論的見解から來てゐるのである、殖產銀行の商業金融部はイザと云ふ場合朝鮮銀行の應援を受けねばならぬ、內地銀行の支店たる第一や十八や百三十が必要に應じ本店から資金の融通を受け得るのとは立場が違つてゐる、從つて殖產銀行は援助を求めねばならぬ中央銀行たる朝鮮銀行と同一の預金公表利子を定むると云ふ事はどうしても避けねばならぬのである、第一十八百三十の態度は別とし、殖銀は鮮銀の公表利子を標準に置きそこに若干の幅をつけて

▲自行の利子 を定むるのが至當である、乃で鮮銀が年五分五厘と決定したから殖銀は六分にしたいと云ふ希望をもち出したのである、コレは必ずしも商銀や韓一や京銀の各行と同一でなくてはならぬと云ふ論斷から出たのではない、見樣によつてはさうされたかも知れぬが予の眞意はさうでない、所で結局第一も百卅も十八も鮮銀同率をとる事となり殖銀は當座特當は朝鮮側銀行と同じであるが、定期の建て前のみは三厘安の五分七厘ときめられた譯である、予等の見解右の如し、勞々將來も鮮銀との間に若干の幅を附するのは避くべからざる事である、尤も殖銀が內地支店でも開き低利の資金を吸收し得るやうにでもなれば若干違つて來やうが、現狀を以て推移しては

▲鮮銀同率に はなし得られないのである——更に殖產銀行の特權は大分あるけれど政府の貸下金や、鮮銀の低資融通や、債券の發行やは悉く勸業金融部の方の資金となるべきもので、商業金融部は他の商業銀行と同じく預金の運用と鮮銀の借入れに俟つて動いて行く外はない、從つて上述の如き特權を云爲し預金利子論を立てられるのは聊か困る譯である

◎枕木納入奬勵

鐵道局にては年々使用する鐵道枕木は約五十萬挺にして從來北海道材に之れを仰ぎしが近來材木の拂底は各地共通にして從つて該北海道材枕木も亦出材源を告ぐるに至りしを以て滿鐵京城管理局にては此木良材及び此の主產地を奬むるを明に拘らず朝鮮材枕木の納入を一般に奬勵しつゝあり目下鮮內の供給材は主として鴨綠材なれども同材は他方面の需用頗る多くして枕木の供給に應ずる遑なく其の運搬の關係上の不便もあるを以て多方面の納入品中より其の適良材並に產地の廣大なる者を選擇中なるが如し

◎鮮銀券發行高

三日より九日に至る朝鮮銀行券の發行平均高は九千零十萬三千八百四十圓にして週末の發行高は九千百二十二萬四千六百八十一圓を示せり

◎京城局爲替貯金受拂

京城郵便局に於ける十月中の爲替貯金受拂狀況を聞くに共に受入に在りては國內爲替金二十萬八千四百八十三圓外國爲替金七百三十一圓、郵便貯金三萬六千二百三十二圓、振替貯金百六十二萬四千百七十六圓、信官署歲入金十五萬四千二百二十四圓、府公金一萬一千五百七十一圓此の受入總額金二百一萬五千四百七十六圓にして之を昨年同期の金百三十二萬五千五百七十五圓に對比すれば金七十萬九千八百四十一圓の增加、又其の拂渡に於ては內國爲替金七十五萬五千八百四十七圓、外國爲替四百四拾貳圓、郵便貯金參萬六千六百四拾四圓、振替貯金百六拾四萬五千參百七圓、遞信官署歲出金參萬五千四百五拾六圓、此の拂渡總額金貳百參萬九千九十圓なり之を昨年同期の分に比すると金七拾四萬參百九拾六圓に比す其の外運輸船舶資金等の出納額を加算せば本年十月分八百四拾六萬貳拾圓昨年十月分金七百萬參千九百九圓にして差引金貳百四拾六萬參千參拾壹圓を增加せり

◎鮮人教育視察團 發期

流行性感冒猖獗を極めたる爲一時出發を延期したる鮮人教員內地視察團一行は其の後稍病勢も緩和したるを以て愈來る二十一日午前八時四十分南大門驛集合內地に向ふべきが同驛集合者は忠南、全南北、慶南北各道を除きたる各道以下十六名にして殘餘十名は釜山に集合一行と合し內地に向ふ筈なり因に京城集合者は二十日午前十時までに總督府學務課に又釜山集合者は同二十一日午前十時までに釜山府廳に集合の筈なりと

◎法聖浦物產會社認可

全羅南道法聖浦に資本金五萬圓を以て法聖浦陸物產株式會社設立の件は曩に同地李仁紀外十名より出願中の處十一月六日附許可の指令ありたり同社營業目的は同地方に於ける重要物資の賣買並に委託販賣運送業等を營み漁業者物資の貸與を爲すものなりと

◎東拓總裁消息

滿洲旅行中の石塚東拓總裁は十二日吉林を視察し十三日四平街に留まり十五日頃奉天に出更に南下の豫定なりと

◎加藤本社長歸京

加藤本社長は十二日午後九時十分南大門驛著列車にて歸京せり

秋月遊山寺和枕石道人之韻

德源 康基夏

梵宮屹立白雲深。響沈秋天諸境森。疊石被苔多怪異。游魚吹沫自浮沈。五更鐘落山同應。萬壑泉鳴樹亦吟。一炷香煙何所祝。頂禮歸命大慈心。

同 元泰 宋泳權

探幽節屐作秋深。澗水游々松柏森。暫脫塵緣忘內外。堪憐慾海作升沈。聽經老石頭々點。掠樹寒風葉々吟。一杵鐘聲山更寂。大千擾々入吾心。

▲正誤 前號夕刊所載枕石道人之詩七句『梢鵑語』は『梢鵑語』之誤

人事消息

▲スーゲルホルツ氏(在京城米國領事) 十二日京城朝鮮ホテルへ

▲富田儀作氏(鎭南浦商業會議所會頭) 十二日夜入京油屋へ

▲宗像球夫氏(鮮銀安東支店長) 十二日歸京

▲中村辰五郎氏(平壤運送業者) 同上

烏瞰錄

▲人見鐵道局長も御多聞に洩れぬ京城運動家の一人で『運動の必要を感じない人はウラヤマしいね僕等は運動を廢するとスグ身體の調子が狂つてくる』と云つてる位で運動なら何でも御座れの方だが▲銃獵を始めてからは外のものは臭迎らしくてやる氣にならぬと云つてる撞球を廢めたのもその爲めださうだ然も怎麼氣のクシャ〳〵した時でも鐵砲一發ズドンと放さうものなら頭の中がスーツとして總ての邪念は煙硝の煙と共に雲散霧消するとある▲鐵砲と云へば澤田總督府第一課長も近頃却々上手くなつて大分的る樣になつたこの事去年の鳥が『オヤ〳〵今年は勝手が違ふぞ氣を付けろ』と云つてるとか▲度支部長室は總督府の東南隅の櫻谷を見下し南山の翠色迫るところ云ふ最も景色のいゝ處にあるが去る人が鈴木長官に『長官の居室こそサゾ御風流心も起る事でせうが一句如何ですか』と聞くとイヤ合憎と御覽の通り景色には背を向けて坐つて居るので一向風流な氣持になつた事がないと云つたと▲鈴木長官と云へば議會の關係で一年の內四箇月は東京住ひをするので兩方に家を持たねばならず然も一番困るのは馬だと云ふで往復に持參ならず何とかウマイ方法もがなと考究中だと

◇本朝廢絕宣明

◇米召集令取消

◎十月京城氣象 [illegible] 既に霜を結び下旬中初氷を看るを [illegible] 昨年及び平年に比し孰れも稍 [illegible] 冷氣加はり十九日朝支那中部高氣壓の進出に伴ひ初薄氷を觀測し [illegible] 濕度の全月平均七二%は昨年及び平年と大差なく一般に乾燥にして晴天 [illegible]

公告

京城學校組合

一、木炭參千八百貳拾貫也 右來ル十一月十六日入札ス希望者ハ組合揭示ヲ見ヨ

購買入札

朝鮮總督府

一、百七十石外三點 右購買ス詳細ハ大正七年十一月十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

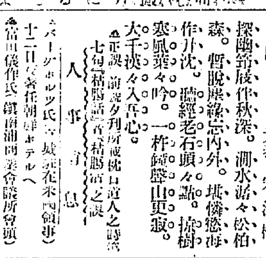
職工募集

一、鍛冶職工若干名

一、衡器職工若干名

右希望者ハ龍山元町農商工部商工課分室ニ出頭承合スヘシ

朝鮮總督府



確實ナル貴金屬

景品にも拘らず 尙ほ良品を 安價に提供するは 商品豐富なる 弊店の特色!

京城本町一丁目 勳資堂 平井時計舖 電話二〇一番 振替京城一〇六一

鐵 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘

ペイント、油類一切 コークス、セメント 耐火煉瓦、モルタル スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品其他

新田帶革總代理店 (物價表御一報次第無代進呈)

白神洋行

大正八年日記値段表

當用日記(博文館) 一圓、九十錢、七十錢、六十五錢、五十五錢 郵送料 拾四錢、各拾錢、各六錢

懷中日記(博文館) 三十錢、二十八錢、二十二錢、二十錢、十五錢 各二錢

家庭日記 中形 七十錢 八錢 / 當用 五十錢 / 懷中 二十錢 四錢

懷中日記(積善館) 七十五錢、六十五錢、六十錢、六十二錢、九十錢 各八錢

當用日記(積善館) 四十八錢、二十七錢、十六錢、二十四錢、二十二錢 各二錢

以上の外 婦人日記家 御用命ニ 到着致候

京城本町 大阪屋號 電話六四番 振替京城二五七二番

左官建築材料

セメント 石灰 硅藻土 火山灰 左官材料一式 各種色土 砂 布海苔 苆 各種塗料品 煉瓦用 東京鏝 建築材料種々 各種耐火煉瓦 粘土 煉瓦 土管 瓦 各種苆類製造

九州火山灰合資會社特約販賣

京城電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール特約販賣

平壤小野田セメント株式會社製 石灰特約販賣

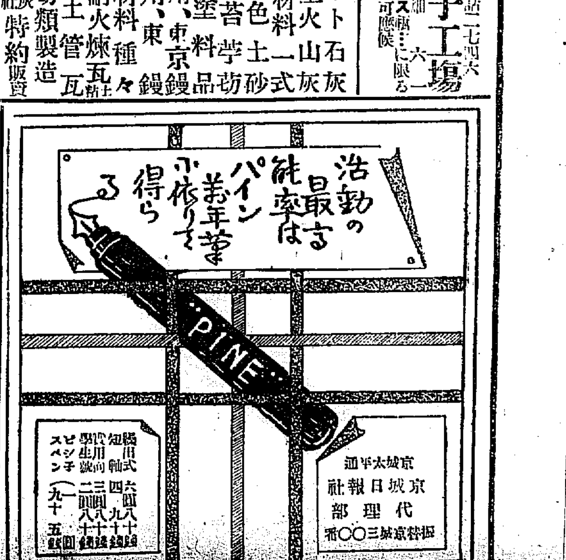
京城旭町一丁目 電話九八四番 卸商 戶澤商店

京城古市町電話二七四六 畑硝子工場 主 畑弟兄一

特製品エキス瓶 其他一般の御注文に可應候

メリヤス各種品揃諸雜貨 御仕入の御方は—

京城南大門通り一丁目 瀨戶勝兵衞商店 電話二七一 振替口座二四〇



肌の荒れを防ぎ

肌理を細かく、滑らかにし 白粉の着を非常に良くする

白粉下……御園クレーム

白粉下御園クレームは普通のクレームの樣に厭はしい粘氣がなく、肌にサラリと心持よく着き、眞に使ひ心地のよい御化粧料で、其の効能も普通のクレームに優る事數等て御座いまして——其上朝夕の洗面後、入浴後に顏から手先に塗けて置きますと、何んな荒れ性のお方でも決して皮膚の荒れる事がなく、美しい色艶を增し、又白粉下として用ゐますと、白粉は一層容易く美しく着きます。

御料御園白粉本舖 伊東胡蝶園

御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

◇聯合國政府聲明

聯合國政府はウイルソン氏の講和條件に賛同する旨を公式に聲明し平和克復の日の速かならん事を希望する旨附言せり（巴里電報）

◇選舉法起草委員會

十二日參衆兩院協議會の結果兩院より三十名宛の委員を選出し選舉法起草委員會を組織するに決せり（東京特電）

○鴻雁に背いて北へ〳〵

自動車隊の通過

★……何に愈々休戰さ　○○大尉快然として語る

寒威日に加はり結氷の期に入る今日此頃龍國の冬は多忙である○○日夜南大門驛發北行の急行列車には○○日朝釜山に着した第○自動車隊の○○名が隊長輜重兵○○大尉に率ゐられて○○迄の

★自動車と共に乘込んで居た、初冬の夜は朗かである○○大尉を途中車中に訪へば後部列車の兵卒の中に交りて談笑、部下を相手に大いに士氣を皷舞して居る室に折重なつた兵士はみな元氣旺盛である途々贈られた小旗が色美しく色彩をはなつ『ごうも途々歡迎祭などから所謂○○や人員を調べられるのに困る

★全く秘密にして居るのだからね何でもないやうな事だけれ共仕方がない、さ長春までは直行する○○で數日間仕事をせなければならないのだから、それから先の行程は語れない、何處かのためにガソリン缺の……がいやそんな失敗はせない心算でみんな努力して居る

★何に聯合國と獨逸が休戰した、こう〳〵やつたか、でもなか〳〵片付くまでは時日を要するよ、まア我々の歸還するのは來年の此頃かも知れないアハ……』と快活に哄笑した、すると傍に居た下士の一人が『何來た程ですもの一年位居らなくつては國の人に合す顏がありません』と相槌を打つ

★活氣滿々　かくて列車が龍山驛構内に入れば軍隊側から數名の歡迎があつたので隊長はアタフタと指揮官室なる二等車へ歸つていつたかくて○時○○分南大門驛を寒い北へ〳〵と進んで行つた

○人物拂底の社界に……待たるゝ卒業生

◇……各學校共に殆ど年內に片附くだらうよ　一番賣行のいゝのは應用化學

實業學の功を積んで今や社會に送り出されんとする專門、實業學校の卒業生は近來各方面に採用者多く引つ張凧の大盛況なるがお待兼の三月に卒業すべき生徒につき先づ

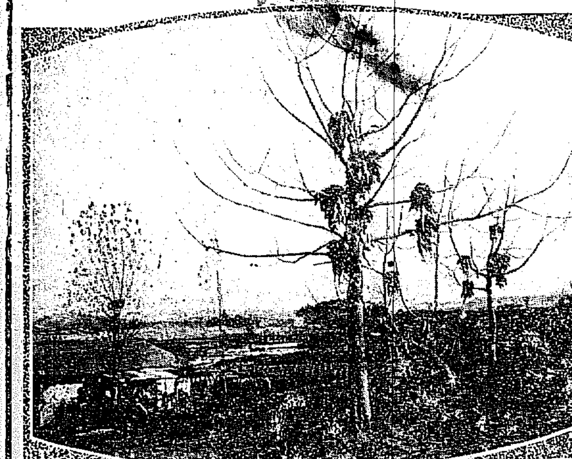
△工業專門學校を訪ふ。今年度の卒業生は廿八名で學校から依賴狀を出すのは每年一月であるが今年はすでに建築科の如き全部約束濟の形である、例年最も賣行きの好いのは應用化學科で昨年あたりは十三四箇所も斷らなければならない有樣であつたが今年も既に半數以上は約束が出來て居る土木科は全部總督府に使用さるゝ事になつて居る、その他の科では餘りまだ無いやうであるが兎に角年內には全部就職先が決定するであらうとの事である

△醫學專門　卒業生は四十八名あるそして同校では先づ奉職と開業の二種類であるがまだ何へても見ないから分らないとの事であるが近頃は進んで斯道研究につくす者も多いとの事であつた

△東洋專門　本年の卒業生は十六名である何分今年擴張したのであるから生徒も少なければ其年十二月になつてから依賴狀を出すのであるが、大抵殖府內の銀行會社に變るさうである、今年も既に七名は一つの銀行から申込があつたからこれも年內には片附くであらう

△專修學校　四十五名の卒業生があるまだこれと云うて確實な申込みは無いが例年の例に依つてこれも心配する事はないと頗る樂觀の體である

△善隣商業　六十名の卒業生があるが今日までの申込みは三十數名の好成績であるこれは尚進んで高等の學校に行く者も多數あるから全部こもわけなく定まる事であらう、戰亂の餘波を受けてか例年に比して本年は各學校共好成績であると校長や係りの人はニコ〳〵と語つていた。



▽初冬の郊外　○されど郊日　肥ゆる作かな○（齊日）

○門司埠頭に大凱旋門を建設して

歸還兵歡迎

野戰より歸還兵は十四日を最初とし順次門司へ到着し行宮を以て小倉市外北方へ向ひ北方を中心として附近一帶に宿營の筈なるにて部隊は後方勤務の輜重、衛生其他の諸隊にて門司埠頭には九州七縣より成る大凱旋門を建設し歡迎す可しと（門司特電）

○信州大地震

=後報=　避難民雪に惱む

家屋倒潰天井墜落等

電報十一日午前三時七分より同三十分に亘り長野縣北安曇郡大町附近に地震數回あり近來の强震にて家屋倒潰天井墜落等二十餘其他の損害あり人心恟々たり更に午後四時十分頃より斷續的に十數回の大小震あり四十年來の强震にて住民は屋外に避難せるも折柄の降雪に避難民は寒氣と不安に惱み慘憺たり（松本電報）

○郵便局長が郵便の配達

惡性感冒の爲

惡性感冒の猖獗のため遞信從業者も罹病したる影響は少からざるが地方郵便局中局員全部罹病し他より應援者を派遣せしものは平南价川郡寧邊郵便局、忠南牙山郵便局、仁川電話局、金泉郵便局にして更に殆んど全滅に瀕せしは慶山、中山、博川、龍岩浦、公州、三水の各局其の他郵便局所員の罹病者は少からず釜山の如きは三百五十八名の局員中百七十五人の罹病者ありたる日あり尚ほ中山、天安の兩郵便局又は遞送人も風邪に倒れし爲局長自ら郵便物の配達をなしたる事ありと

▽大連の短銃强盜事件(六)△

艶物語

美男と美人

二人は大連で人に羨まれた深い仲……

僕の通詰た理由も解つたらう

追窮すると最早逃れないと思つたものか

實は自分が眞の犯人である

何の理由とも知らず恐怖に慄へて居る靴屋の主人から大田新太郎の間々訊して直ちに踏み込み、熟睡中の太田を難なく逮捕して署に引上げた、太田は此晩菊枝を呼んで深更まで酒を呑つてゐたので前後不覺に眠つて居たのは勿怪の幸ひであつた。さて署に引上げてから早速嚴しい訊問を始めたが彼は知らぬ存ぜぬの一點張りで容易に實を吐かない然し乍ら現場に落ちて居た菊枝の寫眞を突き付け、それから菊枝を松村靴店まで呼びつけた關係から遂に白狀した。此の太田と云ふ男は廿一二歳の男で頗る美男子であつた。彼は矢張り同じ靴商をして居た。係から松村靴店の主人とも知合ひの仲であつた。又菊枝とは如何した關係があつたかと云へば深劇染の仲で內縁の夫婦約束をして居たのであつた。それが何故斯うした大罪を犯すに至つたかと云ふに淫蕩の結果金に窮しての出來心らしかつた。別に前科も何もない男であつたが美貌が仇を爲して淫蕩の味を覺えたのが悪かつたらしい。

大連で美男と美女の代表者

兎に角太田と菊枝は大連で美男と美女の代表者とも云ふべきで、二人の仲は隨分人に羨まれて居たのである。然し乍ら如何に夫婦關係にまで進んだ仲とは云へ、殺人强盜の大罪を犯したとは打明け兼ねたと見えて行後は直ちに……を晦まして居た、所が悪い事は身に付かず……

金は無くなる　戀しさは増す

金は無くなるといつた具合でヒヨツソリと大連に舞ひ戻り知り合の松村靴店に泊り込み、戀しくて堪へなかつた菊枝を呼び出したのであつた。犯人が愈太田新太郎と極ると菊枝は非常に愕いた。そして僕が菊枝に通ひ詰めた理由が呑み込めたであらう(終)

○高い大根と白菜類

◇昨年より約三倍の騰貴◇

京城附近一般の大根及び白菜類は水害又は蟲害の爲五割減の不作を呈したる結果と諸物價騰貴と相俟つて昨年に比し約三倍の騰貴を示したる爲め機敏なる商人は早くも地方より搬入販賣しつゝあるも頗る高價なる爲め中產階級以下の一般鮮人は地方より搬出多きに伴れ今よりは多少下落すべしと情勢を俟し冬期漬物の準備を終らざるもの頗る多數あり因に大根は地方より南大門市場等に搬出せるものゝ多數なるが故京城在住民に供給し得ることは充分なるも白菜は地方より搬出し來るも供給不充分なる爲め一般鮮人の副食物拂底によりて恐慌を來たさしめ翻る僅多少漬物準備の不可能なるを訴ふる悲觀し居る者時節から本年は大に白菜の目下の値段は

◇內地人向大根白菜類◇

練馬大根（十貫につき）一圓八十錢より二圓十錢迄、尾張宮重大根二圓、聖護院大根二圓二三十錢、支那山東白菜三圓二十錢より四圓迄朝鮮白菜二圓五十錢より四圓迄

◇鮮人向大根白菜類◇

鮮內在來種大根一叺（約十五貫）二圓より二圓三十錢迄同鮮白菜（十貫）二圓五十錢より四圓位

○防寒用の毛皮は……ど位する

◇珍らしいアーミン◇

冬が近づいて毛皮が珍重さるゝ時となりました毛皮は防寒用として誠に適當なもので其の溫度を保つ點では眞物なぞ到底及びません、扨て此の毛皮では何が一番よいかと申しますと先づ貂とか熊とか海豹とか獺とか種々ありますがアーミン襟卷を一組としたものでは狐でものます白狐は其上等品になりますと三千圓以上にもなります

◈三色狐　などは多く染るのですが黑などに染る毛際は近年中々進歩しまして此の方は組で百三四十圓ですバンドクと呼ぶ小獸の毛皮は中々重んぜられてゐますこれは俗にモンガーと呼ぶ獸で東北地方に多く染るのに容易であります襟卷なぞにはよく用ゐられます五十五六圓なら出來ます狸の毛皮は鮮白なものは少くござして一寸築がかつて居ます一組で六十圓位

◈米國で　ミンクと呼ぶのは日本の鼬と同種類ですが之は毛が非常に柔かですから大層用ゐられ色よく染め樣に依つて變つて來ます一組四十圓位夫から面白いのは露西亞のアーミンですが之は鼠の種類で極小さい獸です冬になりますと雪白になるので甚だ美しく尾の端丈け一寸黑色をして居るのも妙です各國皇帝の

◈戴冠式　などに用ゐられるのは此のアーミンです尚此獸は夏になると鼠色になります此時はスタウトと呼ぶので値もグツと下がるのです本鼠の皮も大層重用されボアと襟卷一組で百四十五圓位であります。

○送別尺八演奏會　都山流尺八師範松尾新?令氏今回?郷里上京家につき……

京城音曲界 —8—

謡曲

京城では殊に上流では盛んだ

古城菅堂氏

こゝ數年來各地で非常に流行して居るのは謡曲で御座います、京城でもなか〳〵お盛んで殊に上流社會で持てはやされて居るやうで

◇植木氏◇

元來謡曲には觀世、寶生、喜多と別れて居りますが京城で最も勢力を持つてゐるのは觀世で、その次が寶生、喜多の順になつて居るやうで御座います女流では觀世で龍山鐵道病院長夫人佐々木春尾子樣が古くから斯界の

▽……牛耳を取つてゐらつしやるやうで御座います、寶生では遞信局の遞信課長夫人矢野よみ樣もなか〳〵御熱心な研究家でゐらつしやいます、一日蓬萊町に元民團長であつた、京城銀行取締役古城菅堂氏をお訪ね致しました此れは奧樣と共に御夫婦連れで大變に趣味をお持ちで熱心に遊ばしてゐらつしやいます『やあ、さても私共では……

▽……お話する事もありません』と笑つてゐらつしやいましたが、でも『仙の老人なぞより男らしいものですから一寸この道に這入つて見やうかと云ふ氣になりました、まア月に二三回も謡を出せばいゝのですから頗る安く習へるのです、それで面白いと云ふわけなのです、がまだほんとにつまりませんが夫婦連れで同じ趣味を持つて面白いだらうと、で、ですか、いつまりません第一女と男では聲もそろひませんもの、彼れに（嫁）に習はせた

▽……動機は私が少しやつて見たいと思ひましたが何分最う腰が痛くてやれないものですから家內に少しやらせて見やうと思ひましたのでした仕舞をやれば謡曲も少しは分つて居なくてはいけませんので始めたと云ふわけですが最う今では餘りやりもしません、まあ私などの話より秋谷の師匠に聞いて

▽……植木さん　の話でも聞いてやつて下すつたら少しは參考になる事もお話するでせう』と但は多く語つて下さいません、その後明治町に植木氏をお訪ね致しましたが御不在でしたので無理からお願ひしてお話だけ拝借致しました、上流社會に多いためかこの邊では他のそれと異なつて靜かに健全な發達をするやうで御座います

○五周年記念琵琶會　筑前琵琶山城旭?……研究の由にて在京の琴尺八の各師匠に……が旭水氏は『隅田川』の弾奏をなす等なりと

○鴨に命を取らる

八日午前九時大邱憲兵分隊管內達西池に鮮人溺死せるを發見し憲兵分隊より出張したるものゝ如く檢視し取調べし結果死人は前夜內地人某が同池に於て鴨を擊ち撃れたる鴨を拾はんとして池中に入り深淵に陷りて溺死を遂げたるものなりと

○『大陸の京城』出版　京城將來の發展は一に此の見地にて案述されたる京城府參事理事阿部辰之助氏著『大陸の京城』は菊版七百五十頁在來の案內式のものと違ひ眞に京城を論じ尙ほ將來を知らんと欲する者の好伴侶たるべし定價二圓五十錢本社代理部に於て發賣せり

◇給仕入用　希望者は本人直接來談あれ但市內に確實なる保證人を要す　京城日報社　編輯局

女事務員入用　十五歳以上高等女學校卒業同等の者本人來談アレ　京城南大門　三巴京城支店

▼本日の出合▲　◎當店の賣物　朝鮮商業銀行株　朝鮮郵船株　京城電氣株　朝鮮紡織株　大阪造船新株　◎當店の買物　朝鮮銀行新株　朝鮮殖產銀行株　東洋拓殖新株　朝鮮皮革株　朝鮮輕鐵株　公債株式現物問屋　新田耕市店　京城櫻井町一丁目　電話九七〇番　一八八

洋鐵　洋鋼　平板　亞鉛板　鉛線　トタン板　ブリキ板　真鍮　銅　地金　福田又五郎　京城支店

京日案內　一回前金拾錢（三行以上一行增每に拾錢）　申込中後迄掲載中止の申込は特に遲く取り消しの場合一回分以上の御申込に限る　◎老舗店、小資金、至急ノ譲渡タシ　姓名在社　◎不用品高價買入御一報　黃金町三町目一八六二　鎖眼古物商

店員入用　京城本町　龜屋

眼鏡及鎖職人採用　京城黃金町貳丁目電話一〇一五番　貴金屬製作所　喜多金光堂

◎左記へ轉居　黃金町三丁目六十四番地の一　峰尾音三郎

代診至急入用　希望の者は本人來院あれ　仁川新町　菊地病院

ほねつぎ　うちみ くじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場

▼一番ヨクキク風邪薬！

此頃惡性感冒が盛んに流行して肺炎肋膜炎其他の餘病を惹起す人が多いさうです。故に此際如何に輕微な引風と雖も決して油斷する事なく速かに適當の療法を施さなくてはなりません。それには解熱鎮咳保溫の効大なる理想的風邪藥『守妙』を服用なさるのが一番手早い治療法です

▼中毒作用無き風邪藥！

守妙は和漢藥二十餘劑の配伍に成る振出し藥でありますから他の洋藥で出來た丸藥散藥の如き中毒の危險が絶對に無く却つて胃腸を强壯ならしめ便通を程よくする等他に見られぬ各種の有効作用があります。殊に御婦人方の冷込より起る諸病に大効あるが故に風邪藥として亦婦人病藥として今や全國到る所に好評を博しつゝあります

ドコのクスリヤにもあり

主治効能　風邪、發熱一切◎頭痛逆上◎たんせき◎寒さあたり◎足腰の冷込◎婦人の冷込より起る諸病

（價定）一日分金拾錢　三日分廿五錢　七日分五拾五錢　十三日分壹圓　四週間分貳圓

起死回生　寶丹　東京市下谷區池之端仲町廿七　本舖　守田治兵衛　振替東京二九八五番・電話下谷四五二九番

時計　貴金屬　指輪　眼鏡商　地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目　京城銀行前　三浦天龍堂

新案特許　製繩機並に綿打機械　（特約販賣店募集）

大邱本町一丁目　製造元　八谷商店

御注意　京城龍山等各地に僞物有

三休橋　百圓進呈　有田ドラッグ商會　大阪北詰角

りん病　ばい毒　請特許三円　藥並二円　合劑一円　皇國醫科大學院　淋病藥主藥は治淋劑とし梅毒藥主藥は驅梅内服藥とし醫藥學上最有効と確定し等にて嘗揭配劑せる高貴藥あるを保証す若し前述の証言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈

◉あらゆる治療をあらゆる患者宛に角度を來談あれ　にせ物　東京大阪各地ににせドラッグあり　大阪有田　藥を買ふ取次あれ

京城南大門外停車場通　大阪ドラッグ商會滿鮮本部　有田（振替大阪六十番）電話二三六番

京城黃金町三丁目（支店）　龍山漢江通停留所（支店）　釜山大廳町二丁目（支店）　元山本町三丁目（支店）　平壤櫻町十二番地（支店）　仁川宮町二丁目（支店）

◉朝鮮のにせ物　京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり購着せられざる樣御注意を乞ふ

請ふ藥舖何處藥店販賣不許（全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり）

大阪心齋橋筋本町　東區安堂寺橋通四丁目　有田ドラッグ商會

母と子 (二十一)

北島春石作 森田久畫

歸宅 (一)

人形町のビヤホールで、お鯉からサンザ瘤かしをされた高松猪平は昔からのお定まりで可愛さあまりて憎さが百倍、おのれやれと憤り立つたが、猪狩に制められてそれもならず、凱歌をあげる敵の聲を後にして其處を飛出し、二三軒飲み廻した揚句、猪狩に介抱されながら中洲の我家へ戻つた。

何しろ、年甲斐もなく夜泊り日泊りを重ねてゐるので、些とは酔つた振でもせずば、いくら厚面しくさも大手を振つては歸り難くもあつたのだ。

猪狩は利に聆い男で、日濟の烏金を驅集めて、一日いくらこ貸賄算用に怠りないにも拘らず、年甲斐も無く近くも無獣あるき、面白くもない隙潰しをして此處まで送り屆けたのは、例の縁談の肝入して双方から貪る禮金で、しこたま腹を肥さうこの野心があればこそ。

『さあ、高松さん、確りなさらんぢや可けませんぞ。お宅の小指さら來たら、ちと鼾の強い荒馬だからまかり違つたら直ぐ臍づくしですぜ。』

『何、何有、亭主は關白の位あり喧。未だ女房を見てビク付くほど耄碌をするものか。』と、猪平は無暗と威張散らして。

『おい、殿様がお歸宅なのに何故お出迎ひせんのだ。商賣の都合で二日や三日不在にしたのが不服なら、何奴でも此奴でも飛出して來い、高松猪平は當家の主人なんだぞ。』と玄關から喚鳴込みながら奥へ踏込んで行く。

此方のお増は、女中の先振れでそれと知つたれば、鐵造の歓待をお竹に任せて襖の外まで出でたここで、廊下の出逢頭、夫婦はバツタリ顔が合つた。

『おや、唯今お歸宅でしたか。』

『何、何だ！。』

これが毎度の傳で、向ふ腫にでも喫付きさうな權幕で、飛蒐つたら、ドタバタ刃傷騒ぎが勃發するだらうが、女房の方から笑顔を向けられては、無暗と空威張した甲斐もなく、猪平も出鼻を挫かれた形ち。

お増は莞爾ならうちにも何ごなく羨顔で、

『猪狩さん、わざわざ貴方が送り下すつたんですか。こんな酔つ拂ひなんですから、さぞ御迷惑をかけた事でせう。』

『いや、何ういたして。』と、猪狩までが強か面喰つて『實はその何で……いや、もう何うも。』と不得要領な挨拶。

今までの酔つた様子も何處へやら、猪平は頗る照れた體でモジモジしながら、

『實はその何だ、出先からふつと急用が出來、一應家へ戻つて仕度をする隙もなく靜岡まで出かけたが……先方から寄越した葉書は屆いたらうな。』

『いゝえ、何にも來ませんよ。』

『ハテナそんな筈はないが……』と、仔細らしく小首を捻つたが『近頃は電報でさへ兎角遅れ勝なのだから、葉書の三日や四日かゝるは不思議もないこして……』と、留守中には別段變りもなかつたか。』

『それが貴郎……大變な事件が出來て、わたし一人の分別に餘つてゐたんですよ。』

『大變さは何だい。』

『あの志保子が家出をしましてね。』

『志保子が……』とばかり、酔ひも一時に覺め果てて、猪平は見る間に眞蒼になつた。そして、夕立み食つた鹽よろしく狼狽へ廻る。

『そ、それは眞實か。』

『誰が嘘なんぞを……』と、お増は始めて嫉妬の焔を燃上がらせた。『年甲斐もない浮氣三昧、貴郎は好い氣で女狂ひに憂身をやつしてるたでせうけど、此方は夜も碌々寢ずに氣を揉んでるんですよ。』

『ふゝむ！何だか夢のやうだ。』と睡然して力ない溜息。

『折角好い縁談も出來かかつて居るに……あゝ、俺には何うしていゝか解らなくなつた。』

猪狩も同じく思案投首。

『これや困つた事になつたわい。』

各種菓子 日露 ─ 衛生ボーロ、不老菓子、ウバ及果、キウリ、茶菓、京煎餅
洋 御菓子卸商
京城義州通一丁目六四
永興製菓所
主任 金鎭秀

(美容醫院改め)
院長 醫學士 森定吉
森病院
内科 小兒科 入院隨意
京城明治町一丁目（舊鶴田醫院跡）電話二六二三番

◎子供を抱て寢る悪い習慣

普通一般に母親が愛兒を抱寢する習慣があります、特にこれから寒くなりますにつれ生れたばかりの嬰兒なごを一人で寢かせて置くのは如何にも殘酷な様に思はれて、朝から晩まで抱寢をするのが多くの母親の常であります、よく醫學者の話に母親の抱寢は子供の身體の爲めに宜しくないこ申す事を聞きますが、之はそれ程心配にはならないこ存じます、それよりか抱寢をする弊害こして母親が

◇乳呑兒 に乳を與へ過ぎ知らずく胃腸を損ね身體を弱くする例をお知らせしたいこ思ひます、元來赤ン坊の胃袋は眠つてゐる間は矢張り働きを休止して居るのが常で其間に與へた乳は兎角消化が十分でなく胃腸を損ひます、それが抱寢をして居りますこ子供が目を醒ましたり動いたり泣いたりする度毎に乳を含ませ、ついそれが習慣こなつて了ひますから子供は常に口を淋しがり寢た間も乳房を離れぬこいふ様になります、其結果は必ず胃腸を悪くいたし營養不良に陷つて一生涯

◇薄弱な 身體で終らねばならぬ様になります、故に母親は乳呑兒でもなるべく抱寢を避け夜は一人で寢せる様な習慣をつけ乳も十時頃から朝まで與へない様にせねばなりません、抱寢が愛兒に親しむ親の至情の如く心得た日本婦人の間違つた考へを直して戴きたいこ存じます、外國では如何に貧困な家庭でも夜寢る時は子供の爲めに一個の寢床を設けて置く事は人のよく知る所であります。

松の家ドロップス
ふらしき市羊菓子

日報俳壇

■酒蔵吟社詠草(新懇)

案山子

鷄散りて飛ぶ嵐の下の案山子哉　春草
兒の簑弟の笠を案山子かな　不可人
弓引ける雄々しき姿の案山子哉　湖劍
粟畑の案山子にされし嵐かな　逸明
倒れ居る案山子に弱き朝日哉　香仙

三日月

流れる水の白さよ三日の月　逸明
大根畑の野良犬逢ふや三日の月　湖劍
島に歸る船揃ひけり三日の月　不可人
棧橋に聴く船唄や三日の月　香仙
江尻迄漁歌漂ふや三日の月　春草
棧橋を洗ふ潮や三日の月　同

花野

汽車過ぎて畑が續く花野哉　香仙
夕陽浴び女工の歸る花野哉　同
朝霧の中を駄馬行く花野哉　同
船揃て歩む花野の一路哉　湖劍
水あれば皆魚溜める花野哉　不可人
失ふる村の畑に鳥や花野原　春草
遠村の畑に鷄落つ花野かな　同
雨の花去來て良寺を嘆く夜哉　同
花野遠く丘に炭燒く畑かな　同
砂金篩ふて溜め溜や花野原　同
夜の風に豚逃げ去りし花野哉　同

■山城吟社詠草(公州)

舟ミ舟の中で語るや夏の星　方外
稿桿に子燕並ぶ留守家かな　鵜刀
恩師訪ふ竹を植ゑて居りけり　來刀
匂し繪の灯點さで一つ哉　空堂
竹植ゑて手習ひす窓の夕月哉　孤山
竹植ゑて野鼠の穴塞ぎけり　一佛
一輪車軋らすニイや夏の星　鐵騎
竹植ゑて燈籠に灯を呼ぶ　死佛
買得たる山吹や竹を植う　可月
邑の灯が見ゆる湖畔や夏柳　波山

新刊紹介 (到着順)

▲三個年通用當用日記　一冊にて三年使用し得べき様に編成したる當用日記にして從來の當用日記に見ざる金錢出納記入欄の如き實用に適せざるもの省きて家計簿要通信錄要件記入欄を設け物品貸借の圖書錄等の記入欄を設けたるは此の日記の特色なるべく便覧も材料豊富なり（一圓二十錢　東京々橋南八丁堀一の一小西書店）

▲朝鮮及滿洲（一三七）朝鮮及滿洲の時事評論及び多方面に亘れる研究資料を滿載したる雜誌（……）

▲黃錦之友（二十一）同縣下の事物を攻究論議し且廣く紹介し縣の内外に在る縣人の事業及活動を報道し縣人の結束を謀り縣の福利を增進する目的にて發行せらるゝものにて教育衛生産業政治經濟歷史地理風俗文藝其の他縣に關係ある記事を滿載せり（二十錢）

▲朝鮮公論（六の一一）鮮滿關係の時事問題を論評報道せる雜誌にして滿紙活氣に充ち文藝味の方面に於ても色を發輝せり（册錢、京城太平町二丁目社）

▲經濟時論（六の一一）二十錢東京有樂町共同社

▲青年こ作文（一一）十二錢東京有樂町一八ノ二　一青年文社

▲日本農業雜誌（一一）十八錢東京赤坂山吉町六ノ三　日本農業社

▲マツダ新報工場號（一二　神奈川縣川崎町東京電氣株式會社

▲刀の研究（一〇）二十五錢東京下谷池の端茅町二ノ三　南人社

▲青島商報（一〇）二十錢青島平度町　青島加組合事務所

▲水産界（一二三）二十五錢東京赤坂溜池町一　大日本水産會

讀者の領分

▲遞信當局に御願ひ！ 近頃拙者もよく郵便の御世話になる事ですが、郵便局の窓口にて郵便物を出す時はなるべく直接分局から組合配達人に手を下して頂く事は出來ないものでせうか。私は京城某所に勤めて居る者ですが所々の郵便局で聞きたい人です。服裝も何年一期に給して與れません。で苑も乞食の様な體裁をして歩かねばなりません。隊に出合へ集るに申掛けられた所で戰爭が來た時は……（在） （以下、判讀困難）

▲……（在） 集配人への給與に就て監事に御檢査を願ひ度いと思ひます。新給集配人一同 四時過ぎになると何處かの往來に行くらしい兵隊が本町を通行して居るが勿論近くではあらうが如何にも軍人らしい紀律が無くダラシない氣持がする。八日など出逢した處に依ると最後の伍に居た一等卒はポケットに手を突込んでブラブラして居たり其他も將校に遭つて敬禮はしながらニヤニヤ笑つて居るが上司の監督を望む（一在營將校）

美人

お化粧の順序

クラブ洗粉　クラブクリーム又はクラブゼリー　クラブ白粉　クラブ頬紅　クラブ粉白粉

クラブ白粉

皇后宮職御用品

各宮家御用品

新時代のお化粧法傳授

高評第一

全國の貴夫人令孃御採用

趣味好尚の進歩した新時代の模範的お化粧法こして、全國の貴婦人令孃間に高評第一の名聲を博して居りますのは、クラブ白粉本店が多年推奬して參りました彼の上品で奥床しい淑女式お化粧法で、此の方法に依てお化粧遊ばしますこ、恰度生來色艶の美しいやうに見ゆる極めて自然的な、故意らしくない、清新な、氣品の高いお化粧が出來上ります、是こそお化粧の本義に適つた眞のお化粧でございます。今其の方法の概略を申しますこ、（第一に）日本名物クラブ洗粉でよく顔を洗ひ、（第二に）皮膚の美を養ふ最新式のお化粧下クラブ美身ゼリーを篠から顔へかけて塗り……若し荒性の方ならば、一番よくきくアレ日燒止め兼用の美身劑クラブ美身クリームを代りに用ひ、指先でよく擦込んでから蒸タオルで輕く拭取る。（第三に）一番高尚で美しい艶の出る

クラブ白粉を掌に取つて指先でよく煉つてつけ、（襟は顔よりも少し濃くする事）、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、濡タオルで押へて白粉を落付かせ、（第四に）お顔にホンノリミ櫻色の健康色を出すクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷きつけ、（第五に）一段こお化粧を引立てるクラブ粉白粉をセーム革につけて顔に薄く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて綺いた上をセーム革で輕く打ちますこ高尚で美しい淑女式のお化粧が忽ちの間に出來上るのでございます。尚は時こ場合に依るいろいろのお化粧法又はクラブ各種化粧品の用法に就て御不審がありましたら大阪市南區水崎町中山太陽堂相談部又は東京市京橋區鍛冶橋際中山太陽堂相談部宛にお尋ね下さい、東京各婦人雜誌の「御婦人の御相談相手」こ題する欄内で委しくお答へ致します。

◎提船繼續決定

▲對米提供船 契約繼續

したるが船主側の意見一致するに至らず再會を約して散會したるが船主側に於ては九日午前十一時よ [illegible] る好意ミ船主側の大讓歩ミに依りて(一)傭船條件は總て從前の通りミし(二)只契約存續の爲めに生ず [illegible] 然らざれば新外船ミ同様噸當り七圓五十錢を政府より補給せられたしこの希望ありたるこ同時に新外 [illegible] る下相談に於て船主側の請は大體に於て今日迄船主は既に多大の犠牲を拂ひて米國に好意を表したれば此上 [illegible] 額補給す可しミ云ふに纏まりたるの、如く要するに第二回協議會に於ける船主側の主張は傭船料に [illegible] のが今日傭船期限到來を機こして直ちに値上げを要求するが如きは飽く迄も米國に對して好意を有す [illegible] の意味を以て强硬したれば船主も遂に更に大讓歩を覺悟して當局の言を容るゝに決したる次第なり [illegible]

仁川期米

▲十二日後場 大阪前場六常二十二圓六九錢の入電にて中限二十七圓二十錢先限二十六圓五十七錢 [illegible]

入電に買現はれ五十三錢こ返し頭重き成行きを示して散會 ▲後場 當限出來不申 ▲中限二十七圓二十錢 ▲先限二十六圓五十七錢八

仁川米豆取引

十二日の一月限 [illegible]